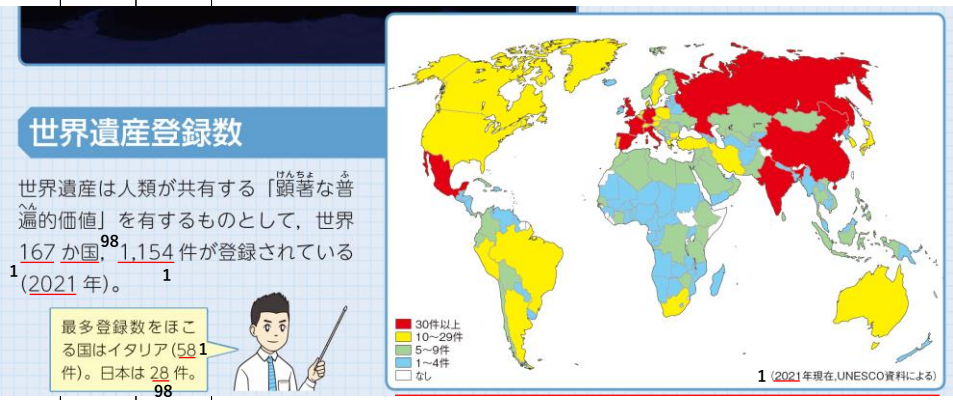
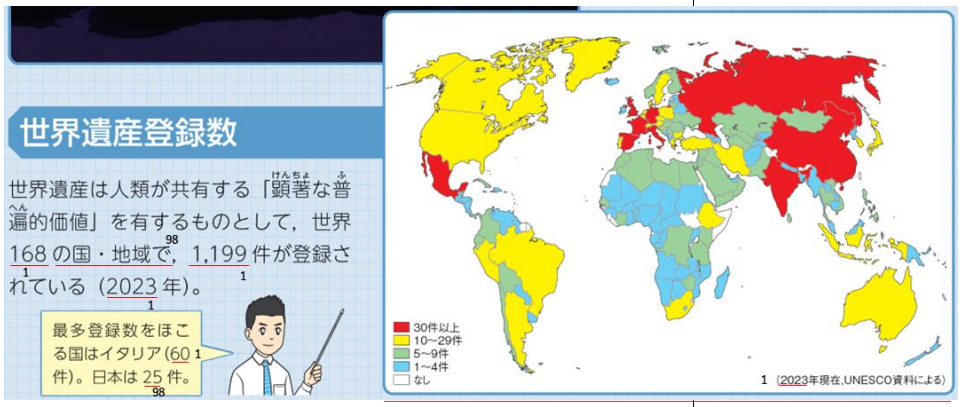
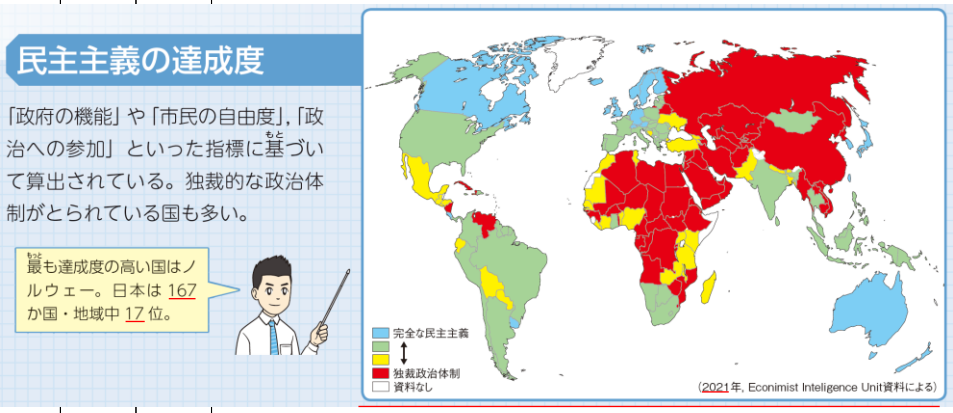
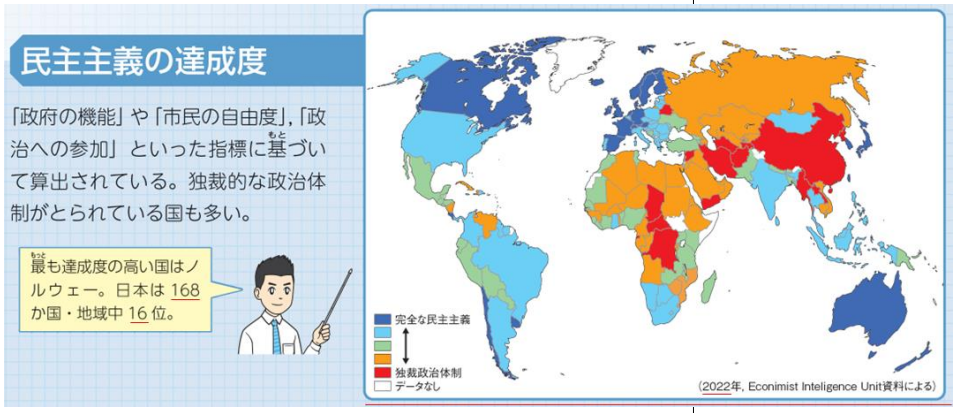
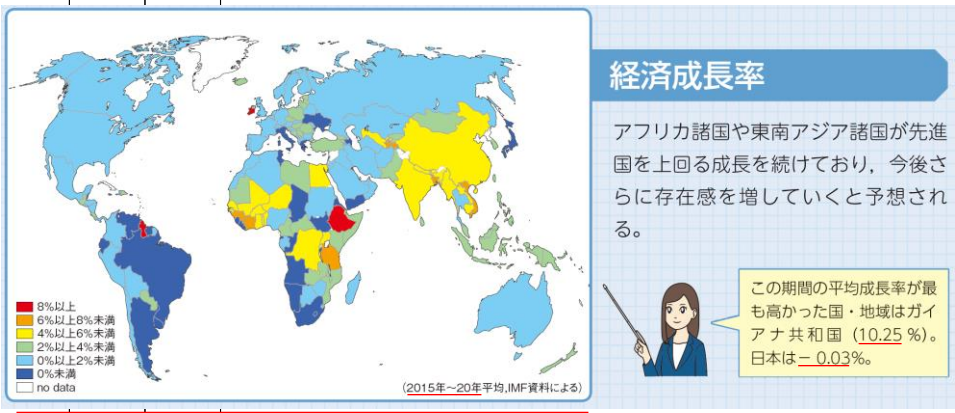
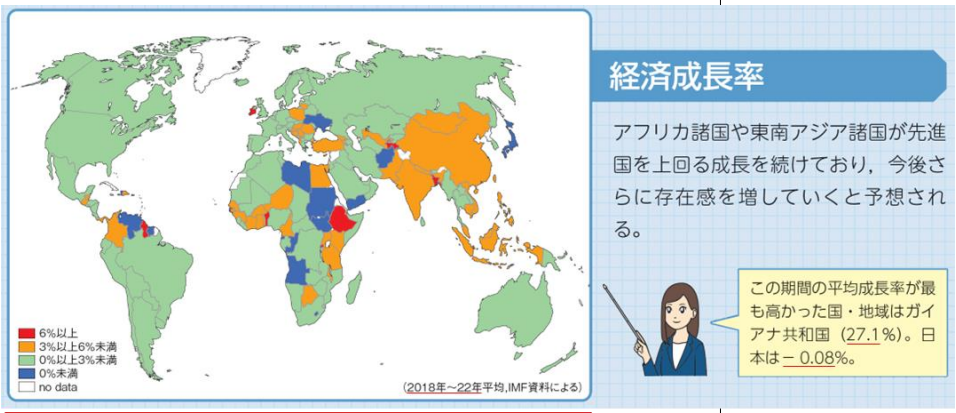
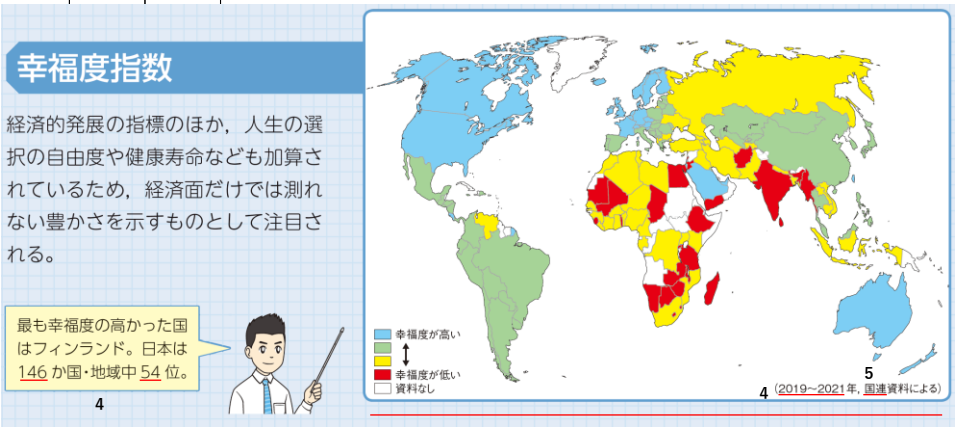
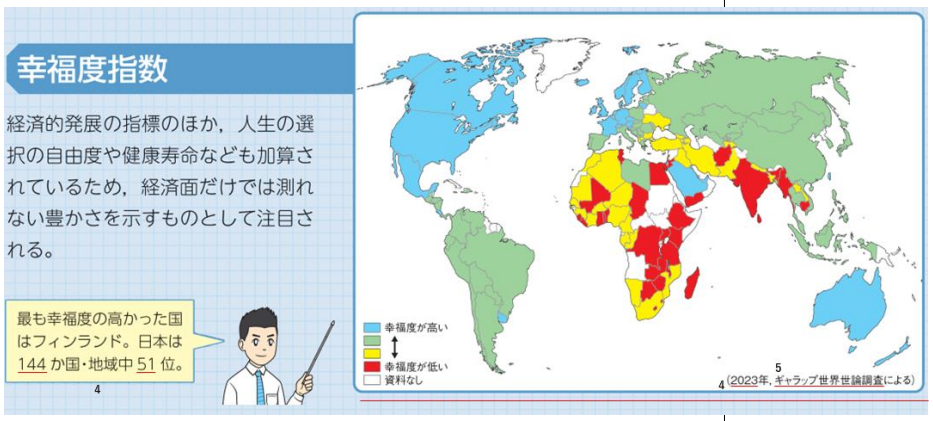
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
1 98	巻頭①	中図			
2	巻頭②	上図			

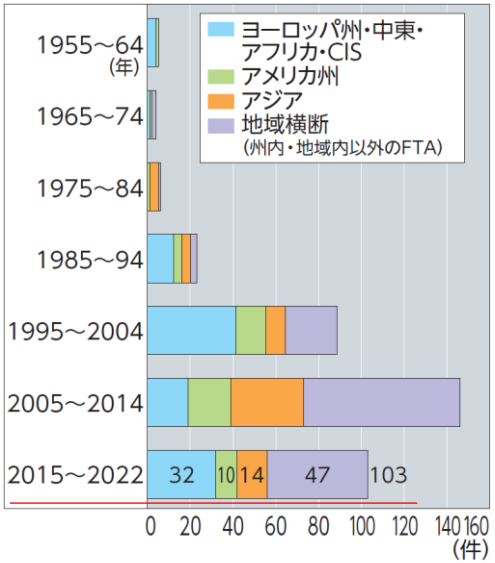
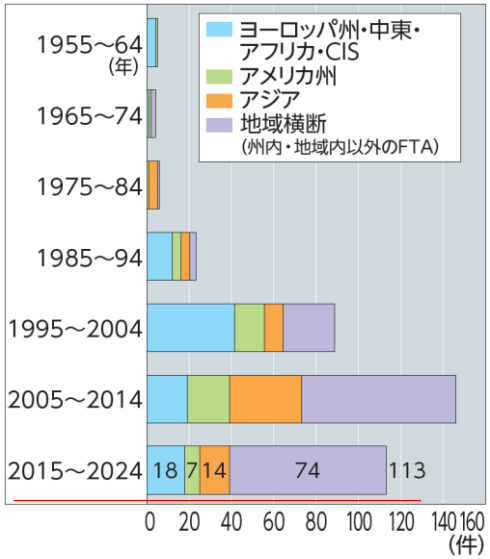
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
3	巻頭②	中図			
4 5	巻頭②	下図			

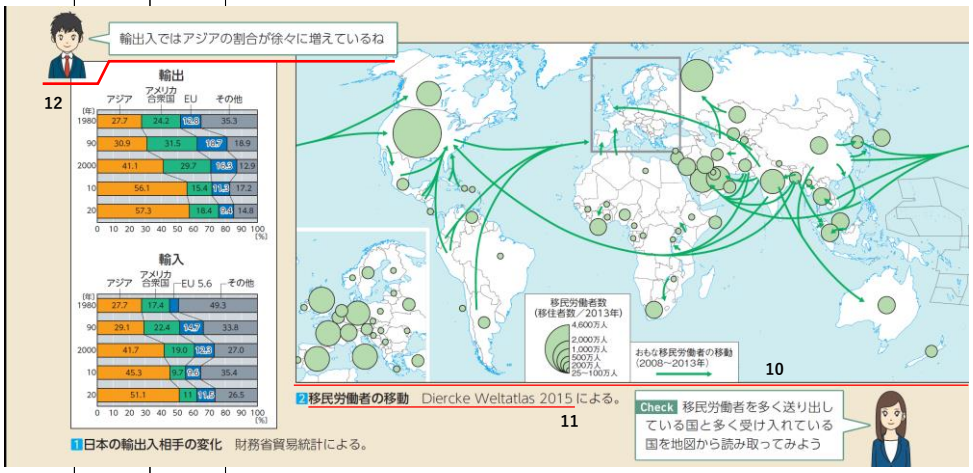
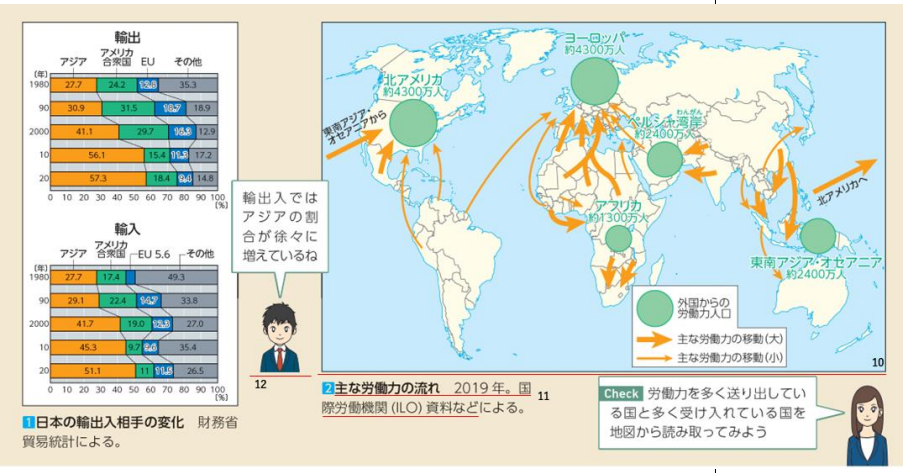
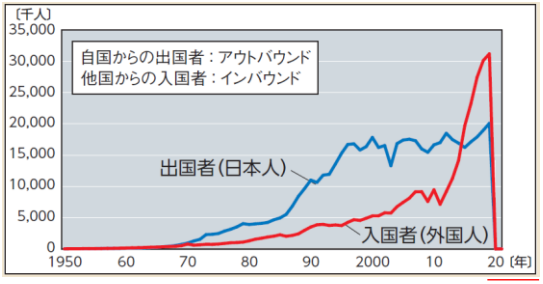
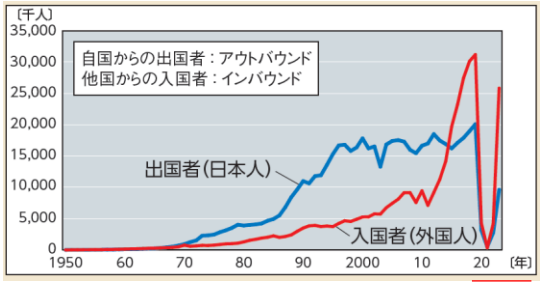
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
6	14	図1 解説	**1主権の及ぶ領域**　1国の主権が及ぶ領域は，領土・領海・領空からなる。国連海洋法条約（1982年採択，94年発効）では，領海12海里，排他的経済水域200海里，深海底を「人類の共同の財産」としている（日本は1996年に批准）。ただし，排他的経済水域や大陸棚が重なりあう国家間で境界画定をめぐって対立が生じることがある。また，接続水域では，沿岸国が通関や出入国管理などに関する法令違反の防止・処罰をする権利が認められている。	**1主権の及ぶ領域**　1国の主権が及ぶ領域は，領土・領海・領空からなる。国連海洋法条約は，領海を12海里，排他的経済水域を200海里，深海底を人類の共同の財産とそれぞれ規定している（日本は1996年に批准）。ただし，排他的経済水域や大陸棚が重なりあう国家間で境界画定をめぐって対立が生じることがある。また，接続水域では，沿岸国が通関や出入国管理などに関する法令違反の防止・処罰をする権利が認められている。	
7	18	注❷	**❷国際連合（国連）** 2019年現在，193か国が加盟している。本部はアメリカ合衆国のニューヨークに置かれている。	**❷国際連合（国連）** 2024年10月現在，193か国が加盟している。本部はアメリカ合衆国のニューヨークに置かれている。	
8	19	図3 解説	**3世界の結び付き** 2023年10月現在。	**3世界の結び付き** 2024年10月現在。	

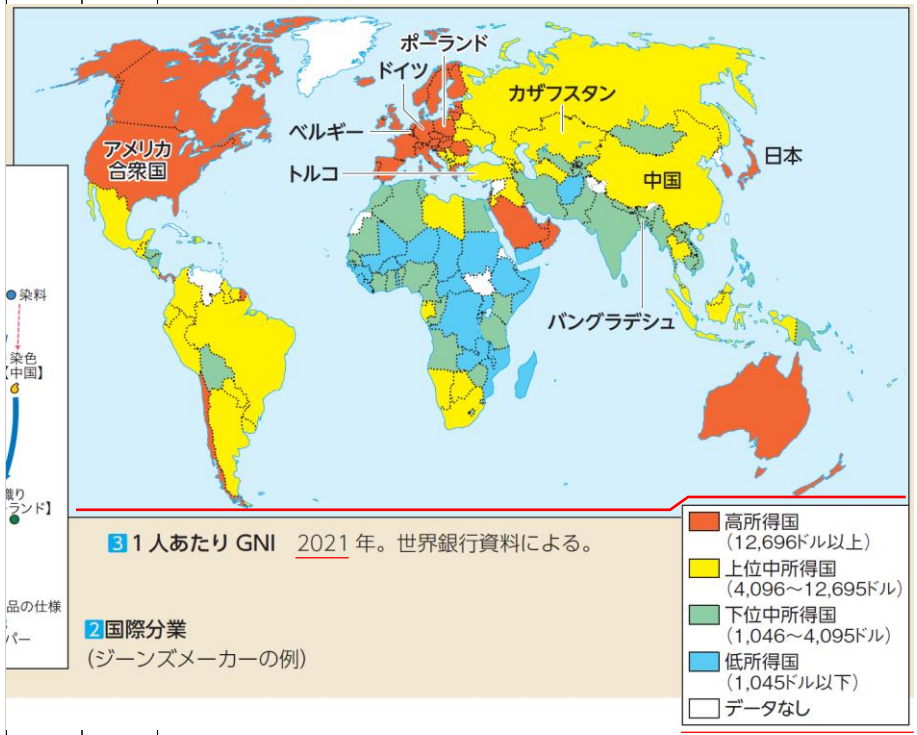
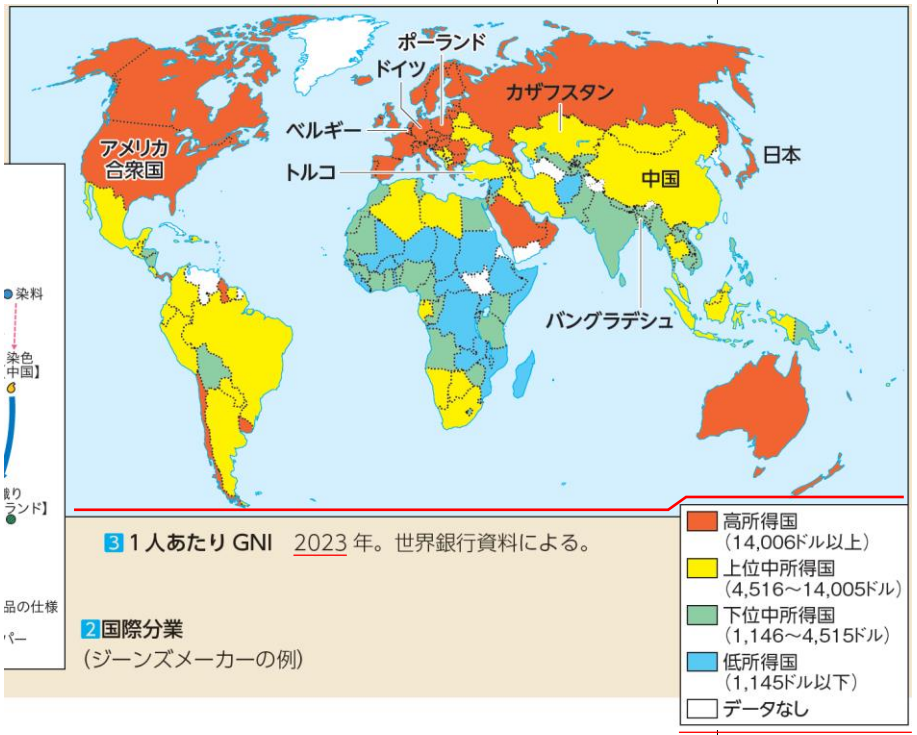
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
9	19	図4	 **4 世界のＦＴＡ発効件数の推移**　2022 年 6 月現在。ジェトロ資料などによる。	 **4 世界のＦＴＡ発効件数の推移**　2024 年 1 月現在。ジェトロ資料などによる。	

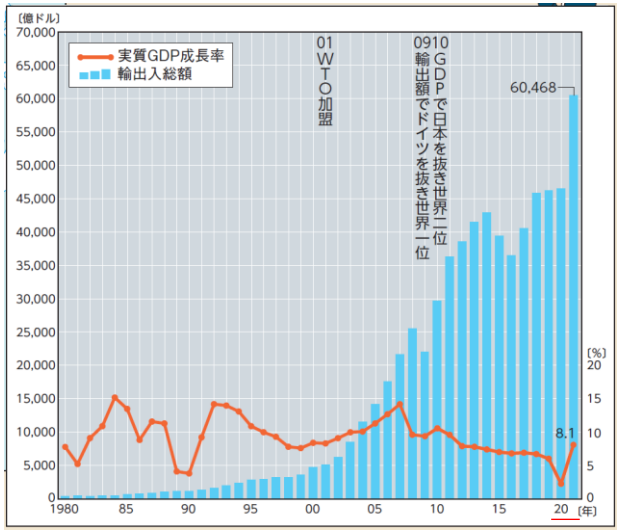
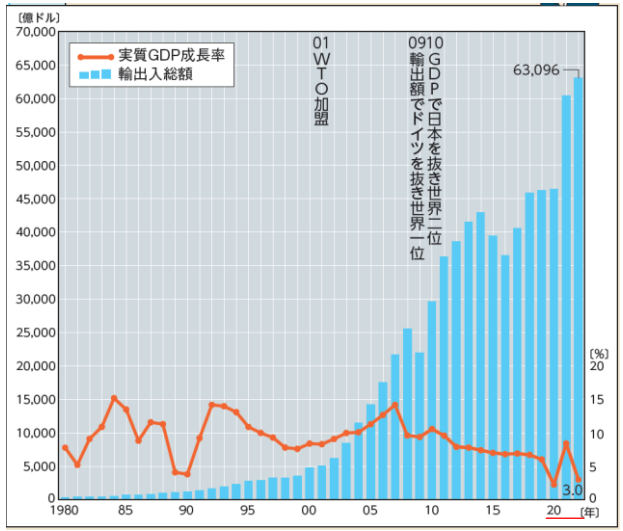
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
10	20	図2			
11					
12		生徒発言			
13	24	図3			

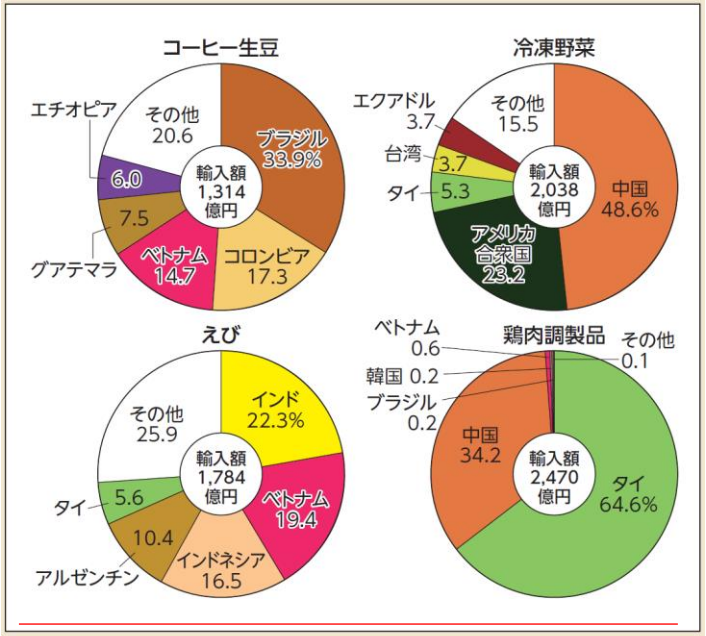
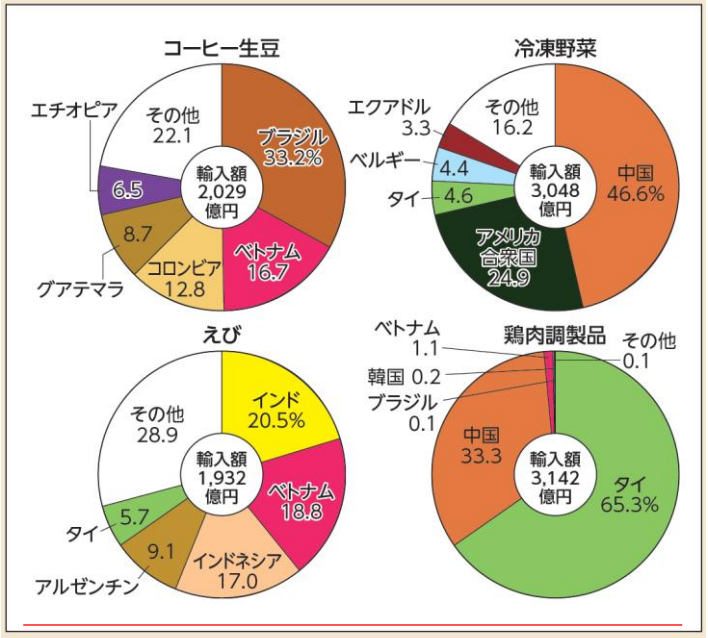
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
14	43	図3			

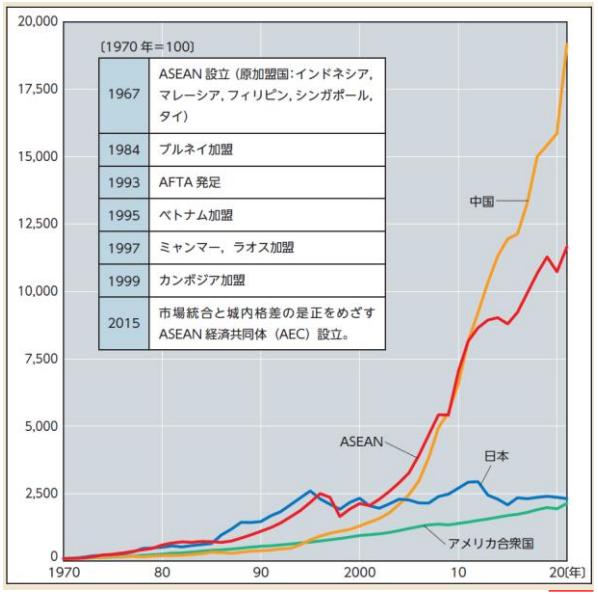
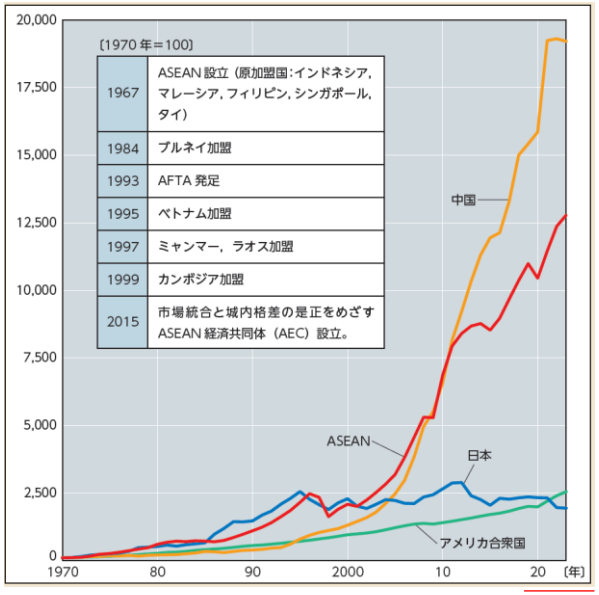
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
15	52	図2			
16	61	19	農業が生業の中心となっていたが，現在は，天然ゴムやアブラヤシなどの商品作物を導入した**プランテーション農業**が見られる。多島海の海域世界では，真珠，ナマコ，ベッコウなどの海産物が特産品として中国と交易され，それらは現在でも重要な収入源となっている。	農業が生業の中心となっていたが，現在は，天然ゴムやアブラヤシなどの商品作物を導入した**プランテーション農業**が見られる。多島海の海域世界では，真珠，ナマコなどの海産物が特産品として中国と交易され，それらは現在でも重要な収入源となっている。	

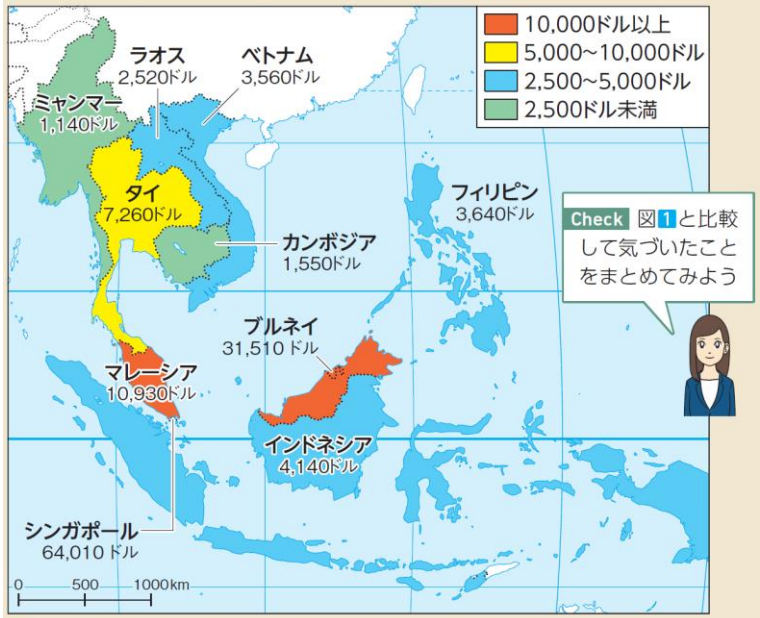
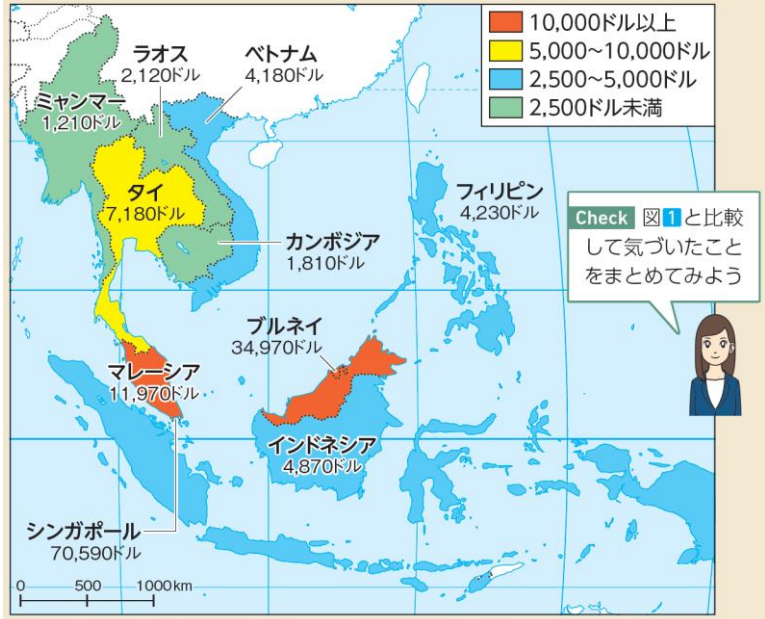
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
17	63	図3	 3日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2021 年。農林水産省資料による。	 3日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2023 年。農林水産省資料による。	

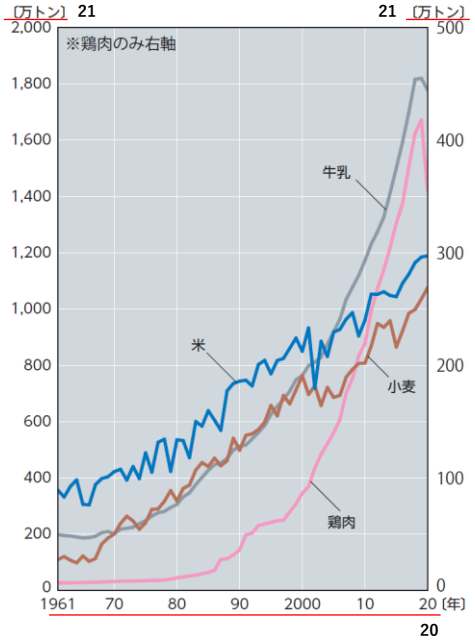
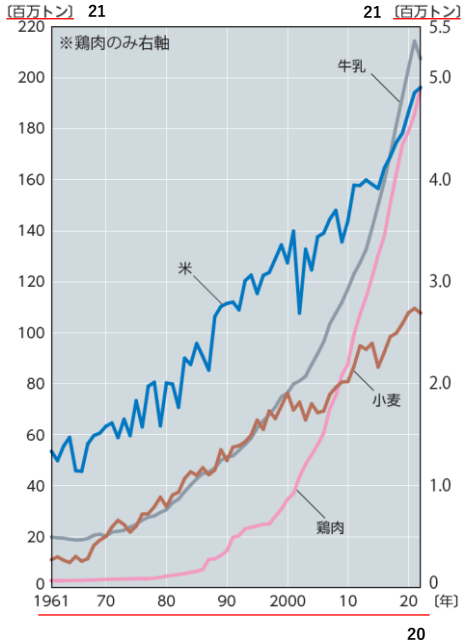
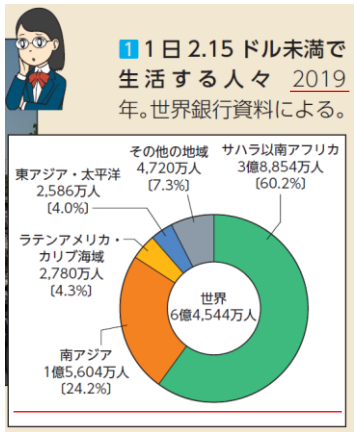
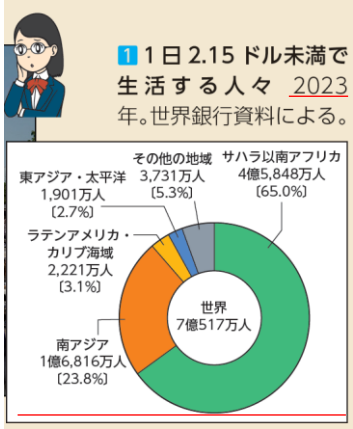
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所		原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
	ページ	行			
18	67	図3			

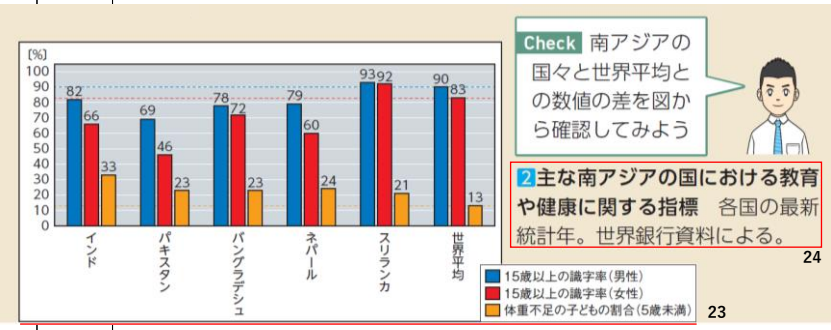
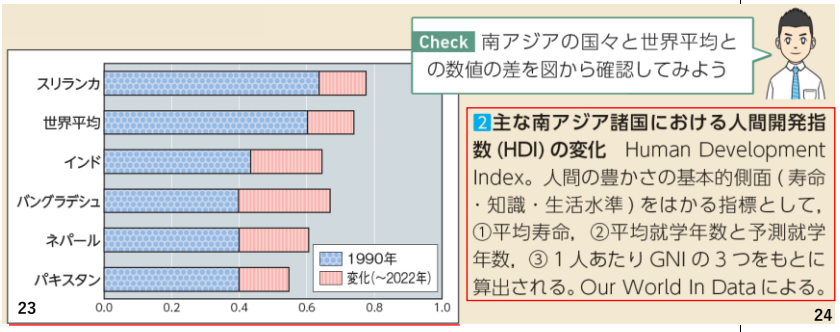
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
19	67	図4	 4 ASEAN 諸国における１人あたりＧＮＩ　2021 年。世界銀行資料による。	 4 ASEAN 諸国における１人あたりＧＮＩ　2023 年。世界銀行資料による。	

図書の記号・番号	地総702

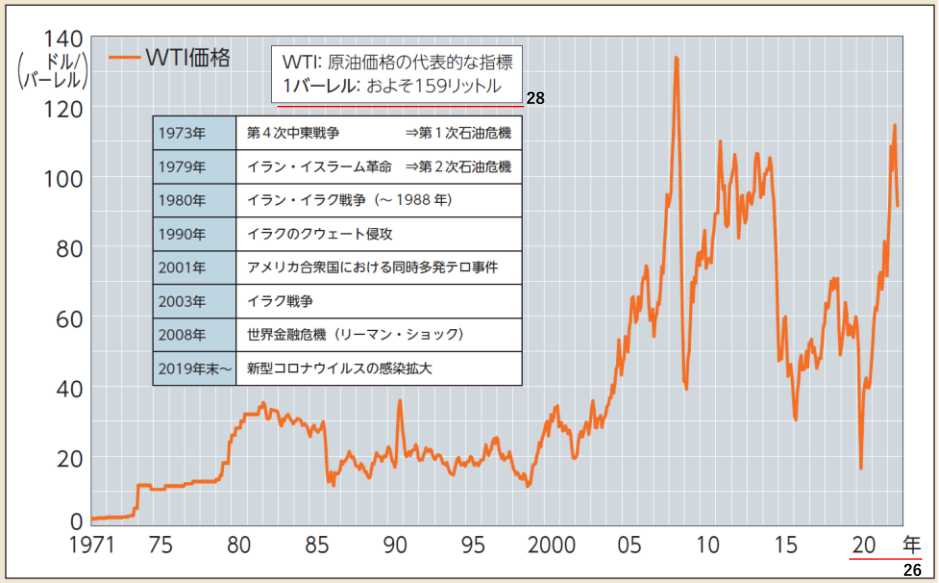
番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
20 21	76	図2			
22	78	図1			

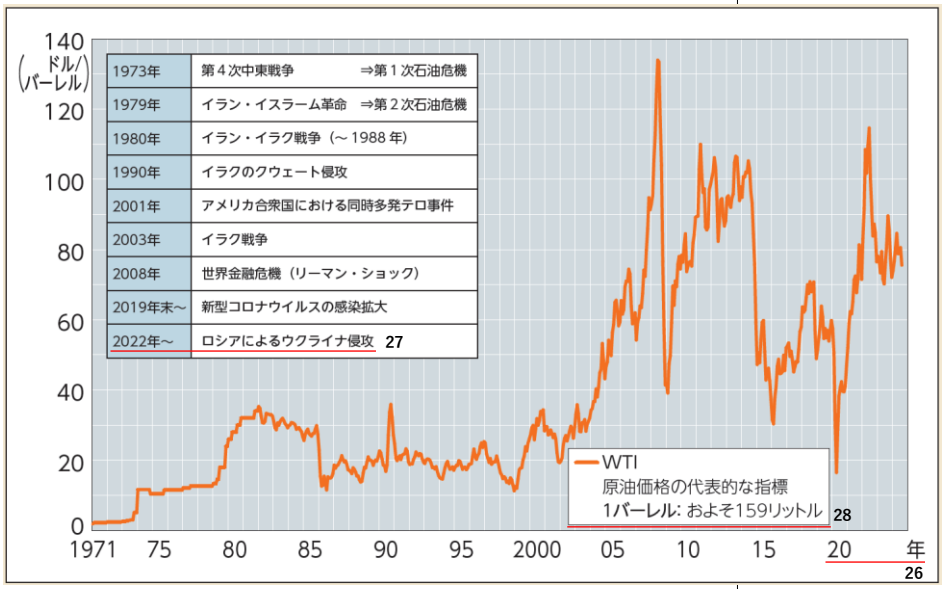
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
23 24	78	図2			
25	79	注❷	❷ 1日2.15ドル未満の収入で生活している**絶対的貧困層**(ぜったいてきひんこんそう)は世界で約6.5億人おり(2019年時点)，そのうちの約4人に1人が南アジア地域で暮(く)らしている（1）。	❷ 1日2.15ドル未満の収入で生活している**絶対的貧困層**(ぜったいてきひんこんそう)は世界で約7.0億人おり(2023年時点)，そのうちの約4人に1人が南アジア地域で暮(く)らしている（1）。	

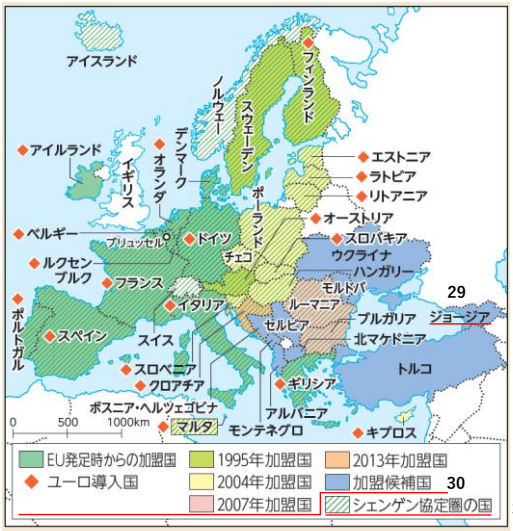
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
26	87	図4			
27					
28					

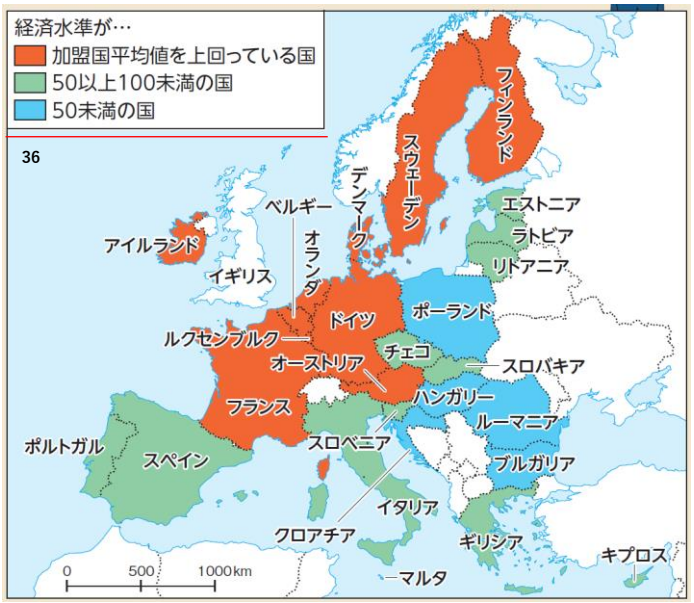
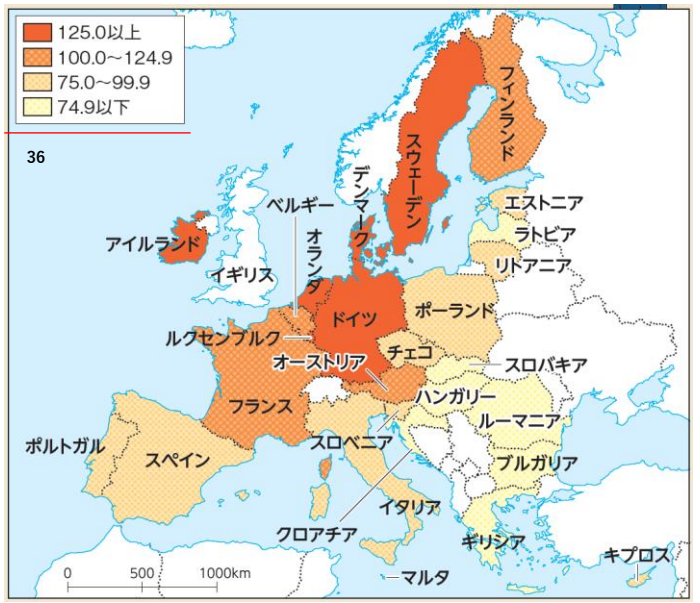




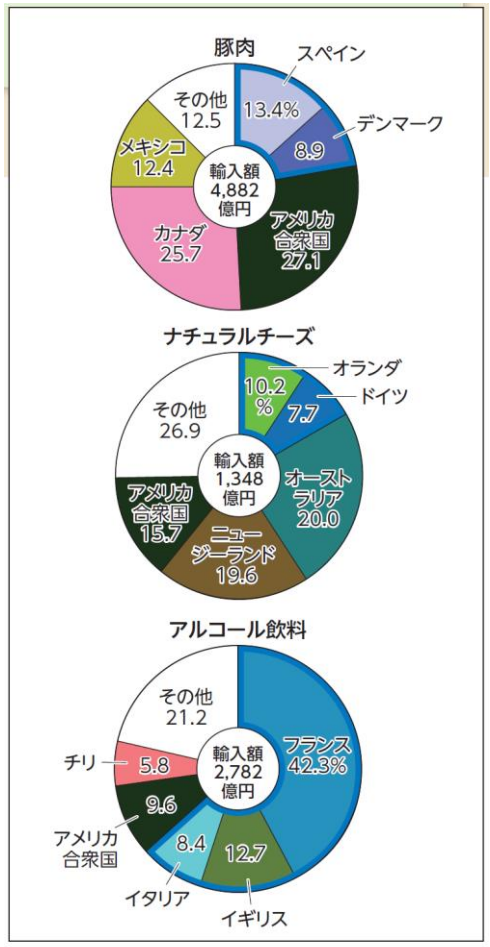
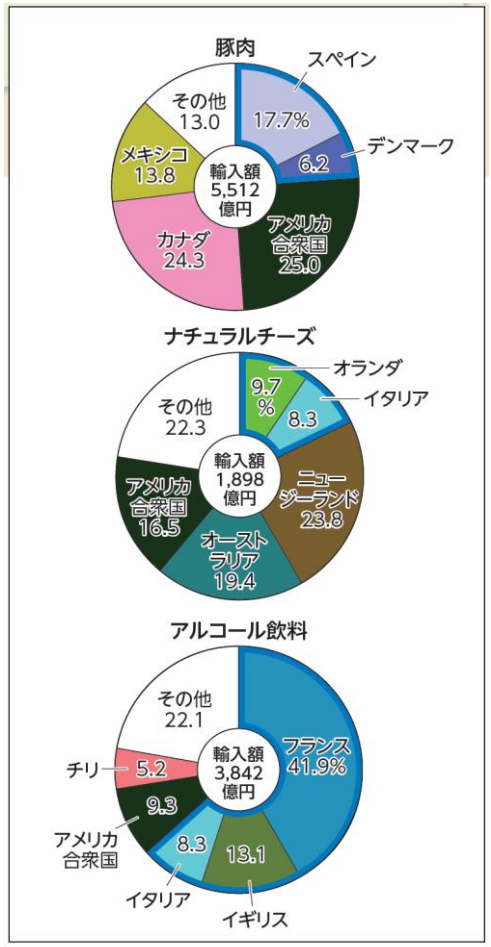
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
29 30 31 32	99	図4	 32 **4 EU 加盟国・ユーロ導入国**　イギリスは 2016 年の国民投票で移民問題などへの反発から EU 離脱を選択，2017 年に EU 側との離脱交渉を開始し，2020 年の 1 月に離脱した。 32	 32 **4 ヨーロッパの統合と拡大**　2024 年 4 月時点。イギリスは 2016 年の国民投票で移民問題などへの反発から EU 離脱を選択，2020 年の 1 月に離脱した。 32 29	
33	99	9	東ヨーロッパ諸国も加盟し，2023 年 1 月現在，27 か国体制となった。	東ヨーロッパ諸国も加盟し，27 か国体制となった。	
34	99	注❶	**❶シェンゲン協定** 2023 年 1 月時点で，EU 加盟 23 か国とスイス，アイスランド，ノルウェー，リヒテンシュタインの EFTA（ヨーロッパ自由貿易連合）加盟 4 か国の計 27 か国が協定を締結し，シェンゲン圏での域内国境管理を廃止している。EU 加盟国でありシェンゲン圏に含まれていない国は，アイルランド，ルーマニア，ブルガリア，キプロスである。	**❶シェンゲン協定** 2024 年 4 月時点で，EU 加盟 25 か国とスイス，アイスランド，ノルウェー，リヒテンシュタインの EFTA（ヨーロッパ自由貿易連合）加盟 4 か国の計 29 か国が協定を締結し，シェンゲン圏での域内国境管理を廃止している。EU 加盟国でありシェンゲン圏に含まれていない国は，アイルランド，キプロスである。	

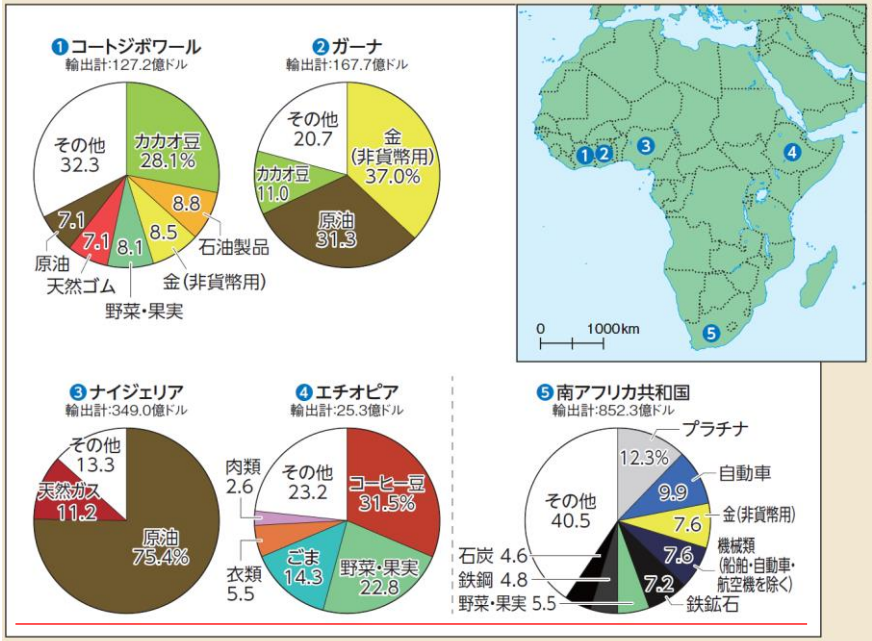
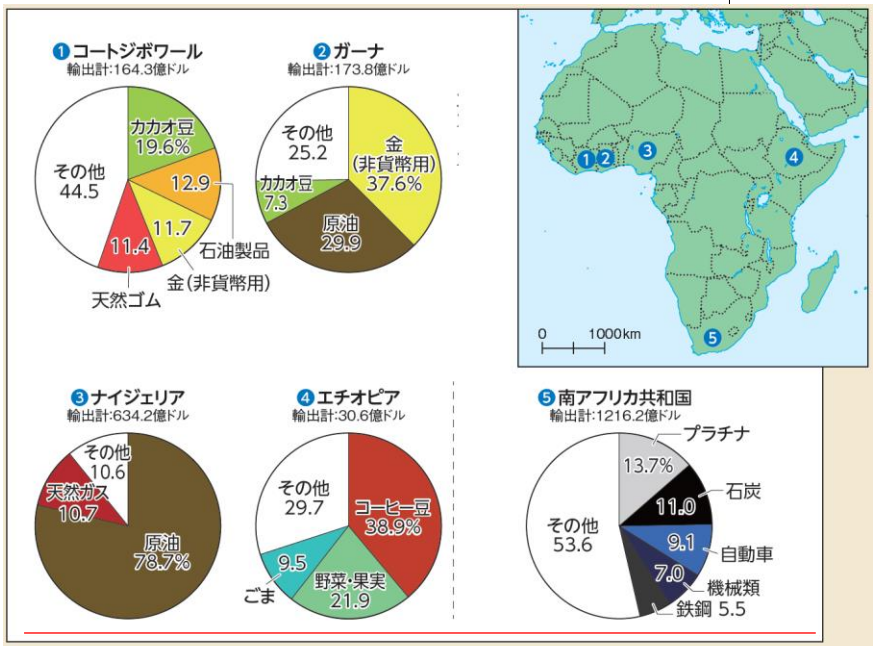
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
35 36	100	図1	 1 EU 加盟国における１人あたりＧＮＩ 35 2021 年。加盟国平均値を 100 とした。 36 世界銀行資料による。	 1 EU 加盟国における１人あたりＧＮＩ 35 2023 年。加盟国平均値を 100 とした。 36 EUROSTAT による。	
37	102	表2	2019年／% 小麦 / いも類 / 果実類 / 牛乳・乳製品 スウェーデン 140 85 5 83 ドイツ 125 124 31 106 フランス 200 138 64 104 スペイン 54 65 139 89 イタリア 62 55 104 86 日本 16 73 38 59	2021年／% 小麦 / いも類 / 果実類 / 牛乳・乳製品 スウェーデン 119 73 4 75 ドイツ 118 134 22 96 フランス 189 129 50 97 スペイン 69 58 127 82 イタリア 66 45 99 77 日本 17 72 39 63	

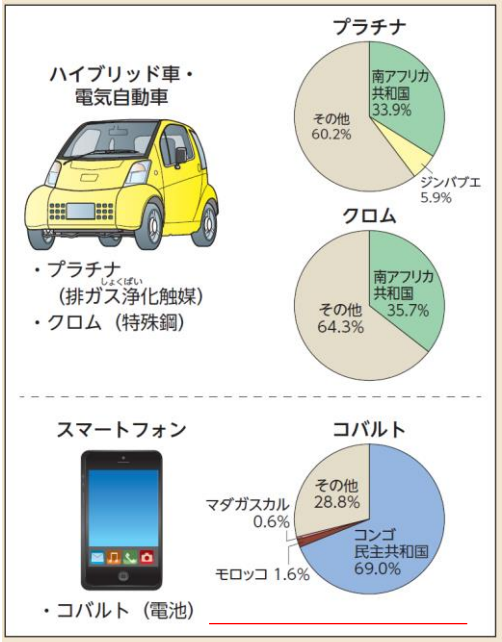
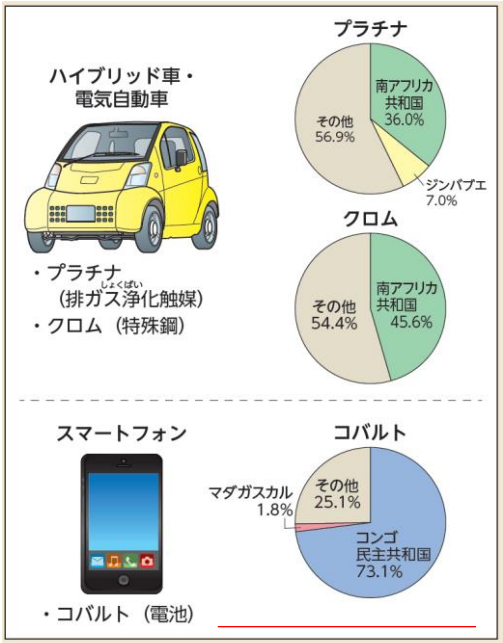
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
38	103	図3	 3日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2021年。農林水産省資料による。	 3日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2023年。農林水産省資料による。	

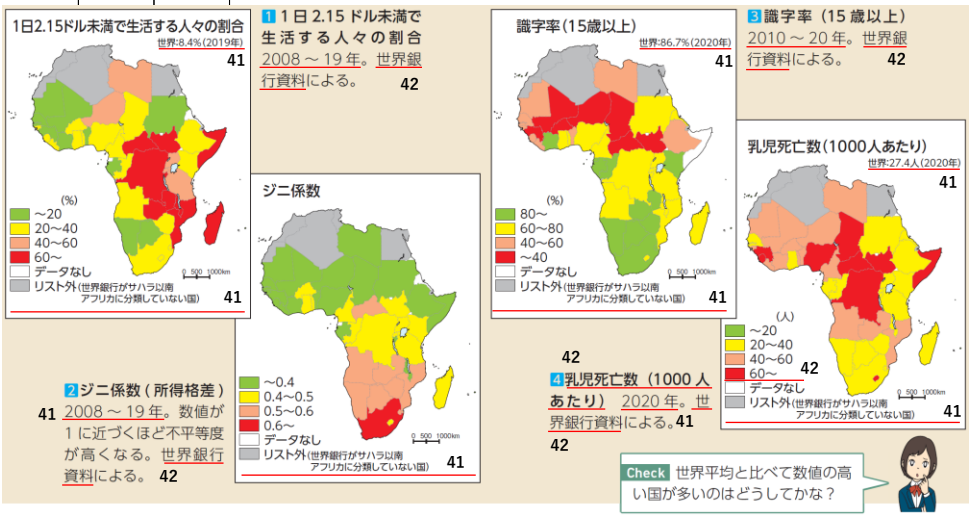
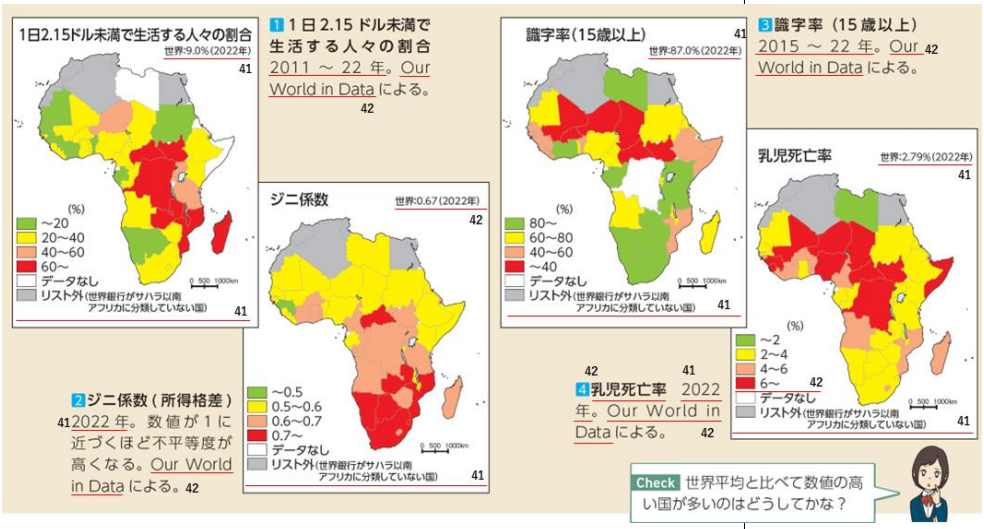
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
39	116	図1	 **1各国の輸出品目** 2020年（コートジボワールとガーナのみ2019年）。UN Comtrade などによる。	 **1各国の輸出品目** 2022年（エチオピアのみ2021年）。UN Comtrade などによる。	

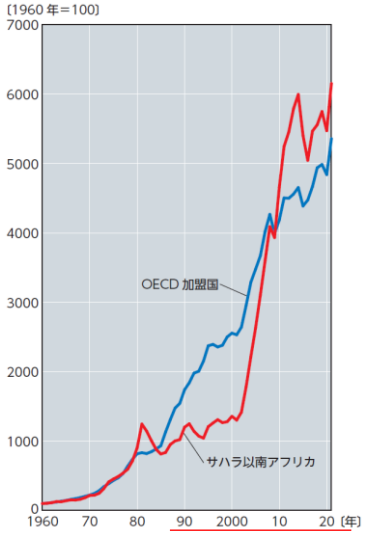
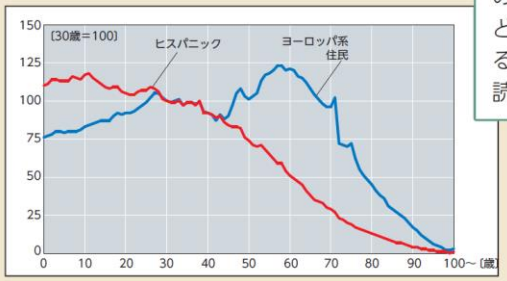
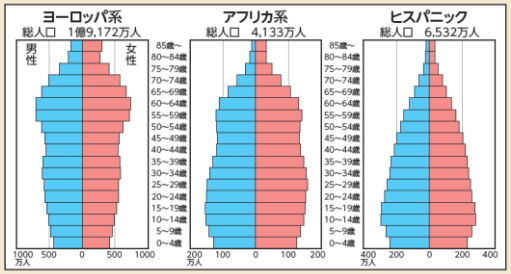
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
40	117	図3	 3 レアメタルの使いみちと主なアフリカの生産国 2020年。アメリカ地質調査所資料などによる。	 3 レアメタルの使いみちと主なアフリカの生産国 2022年。アメリカ地質調査所資料などによる。	

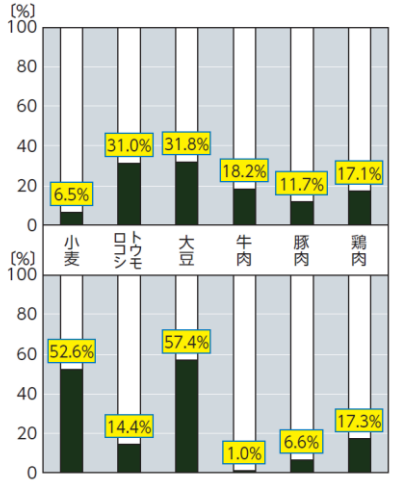
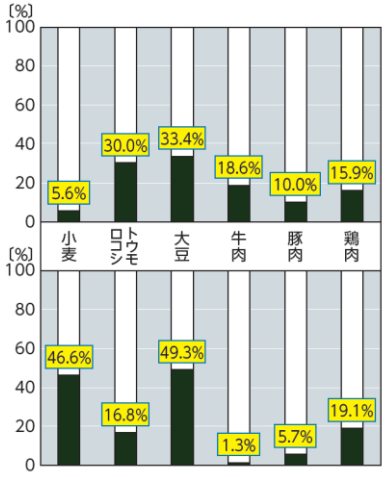
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
41 42	118	図 1～4			

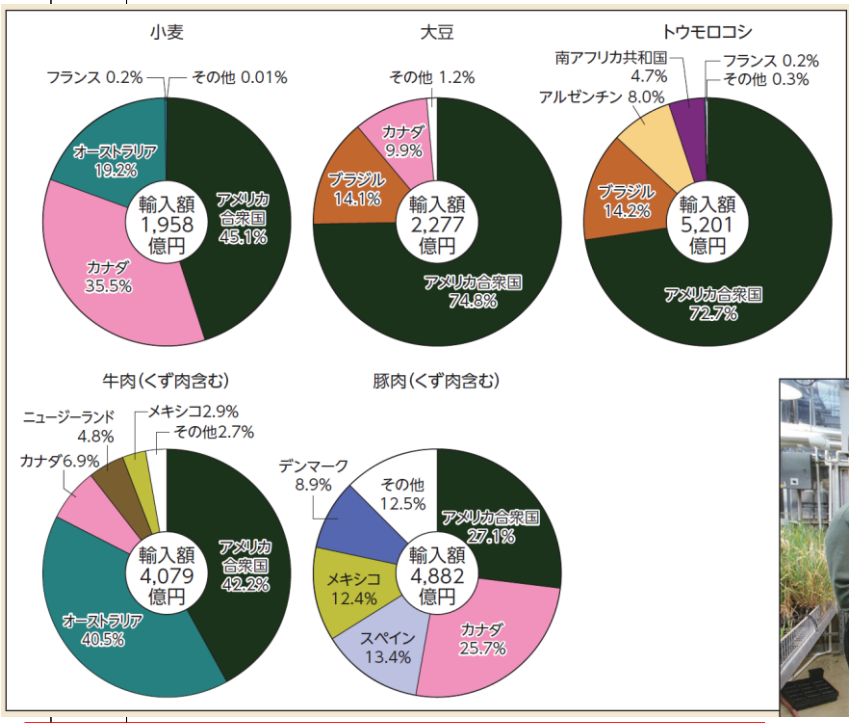
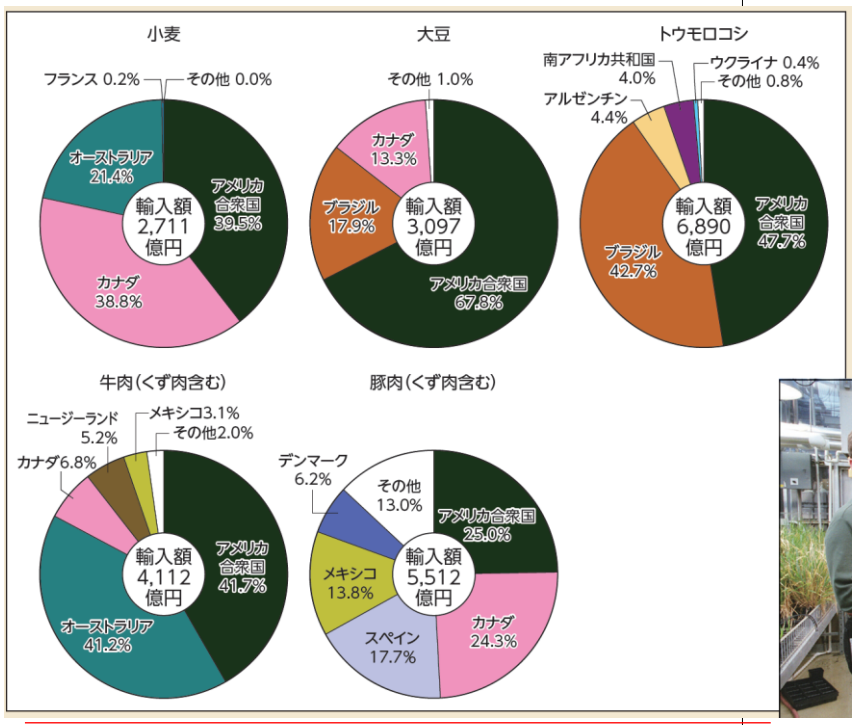
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
43	118	図5			
44 45	126	図3	44 **3ヒスパニックとヨーロッパ系住民の年齢構成**　2018 年。30 歳人口を 100 として算出している。アメリカ合衆国国勢調査局資料による。  **Check** 今後流入する移民の影響を除くと，アメリカ合衆国の人種・民族構成はどのように変化するだろうか，図から読み取ってみよう 44　45	44 **3アメリカ合衆国における主な人種・民族別の人口ピラミッド**　2020 年。アメリカ国勢調査局資料による。  **Check** 今後流入する移民の影響を除くと，アメリカ合衆国の人種・民族構成はどのように変化するだろうか，図から読み取ってみよう 44　45	

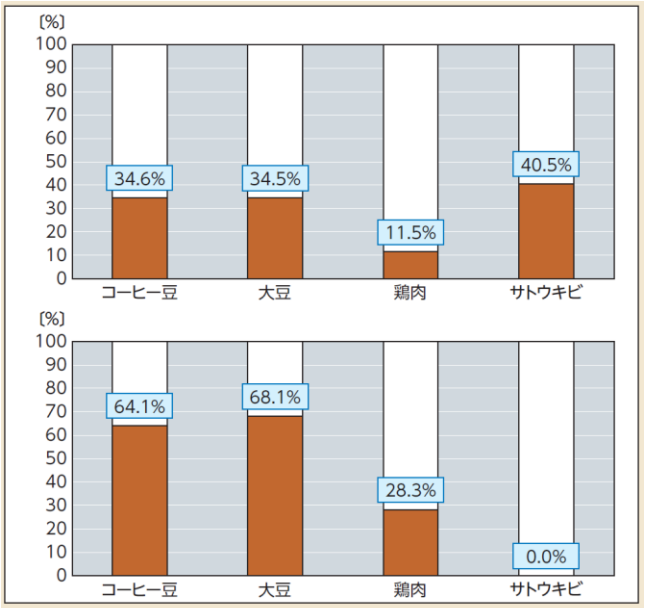
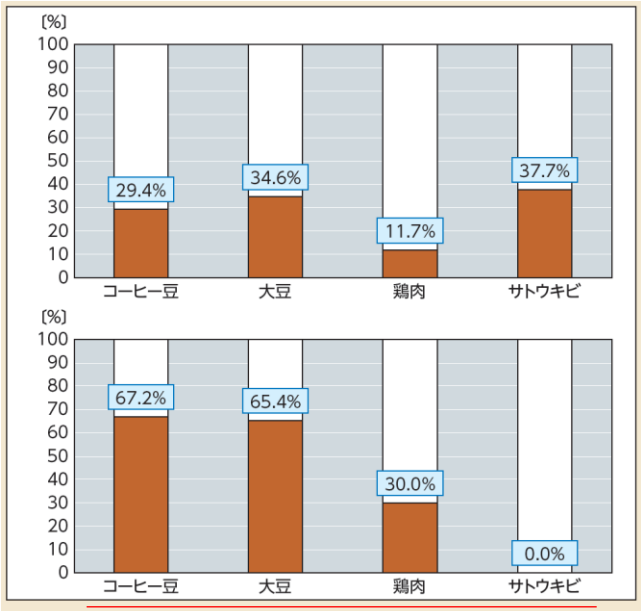
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
46	128	図2	 2アメリカ合衆国における主要な農作物の生産量が世界全体に占める割合（上）と生産量に占める輸出量（下）の割合　2020年。FAO STAT による。	 2アメリカ合衆国における主要な農作物の生産量が世界全体に占める割合（上）と生産量に占める輸出量（下）の割合　2022年。FAO STAT による。	

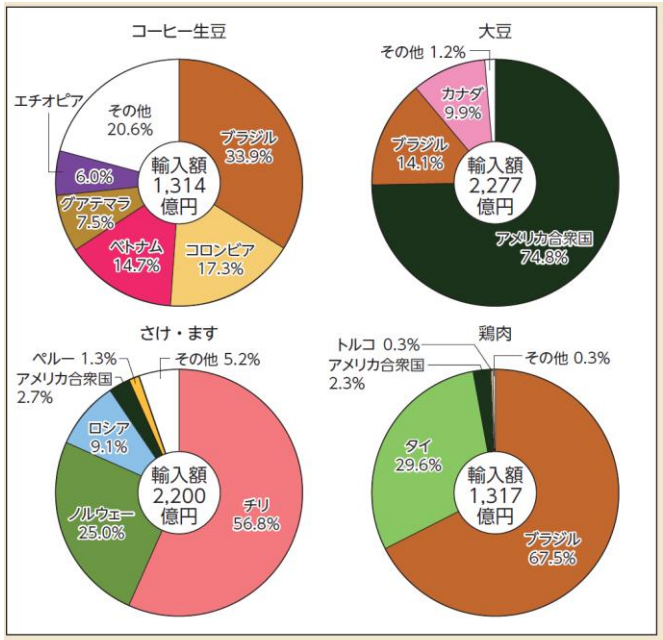
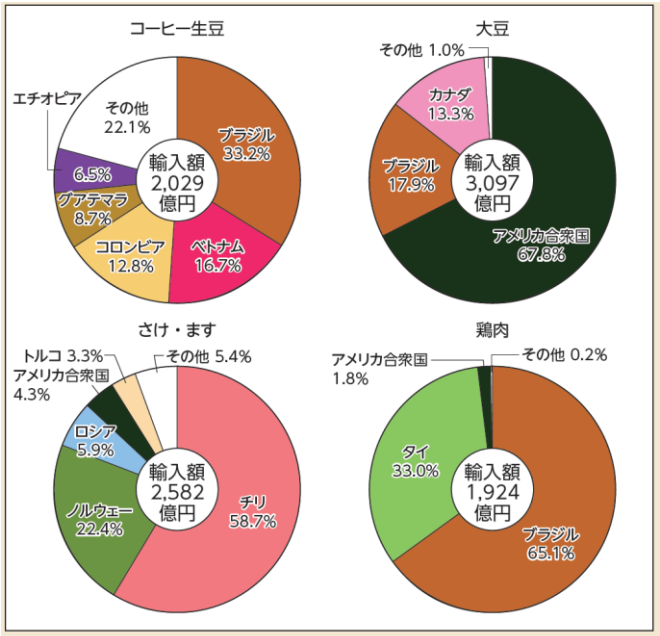
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
47	129	図3	 3日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2021 年。 農林水産省資料による。	 3日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2023 年。 農林水産省資料による。	

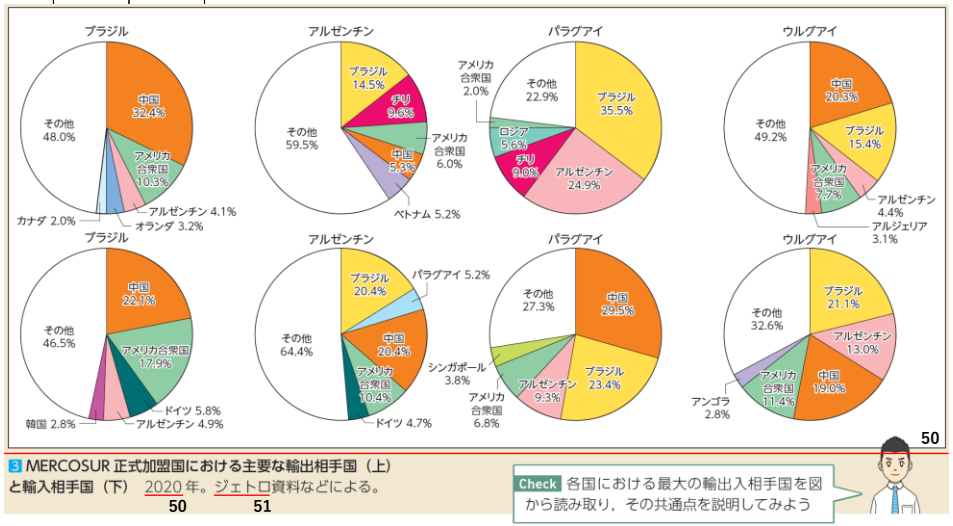
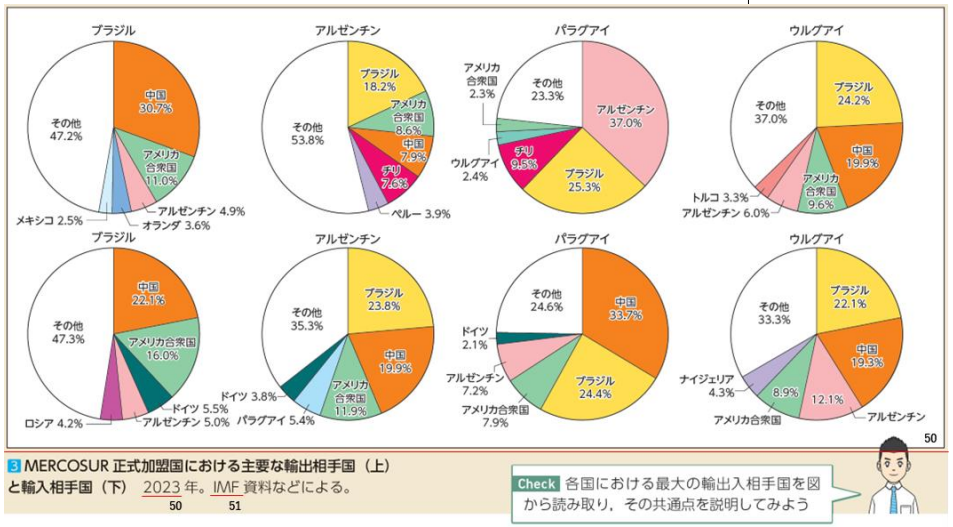
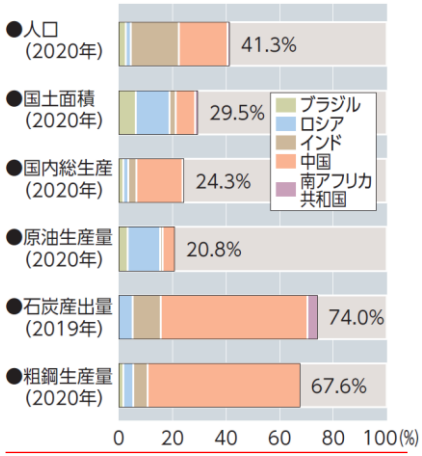
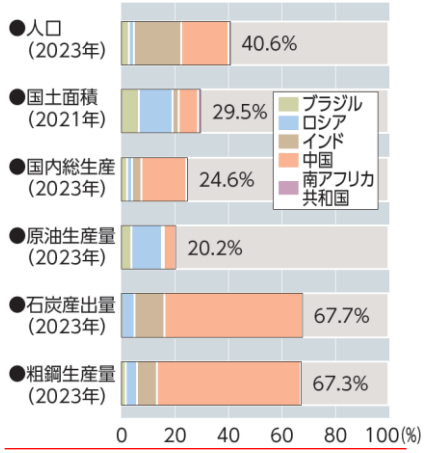
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
48	137	図3	 3 ブラジルにおける主要な農作物の生産量が世界全体に占める割合（上）と生産量に占める輸出量（下）の割合　2020年。FAO STATによる。	 3 ブラジルにおける主要な農作物の生産量が世界全体に占める割合（上）と生産量に占める輸出量（下）の割合　2022年。FAO STATによる。	

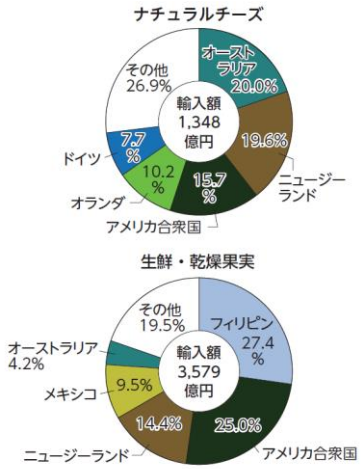
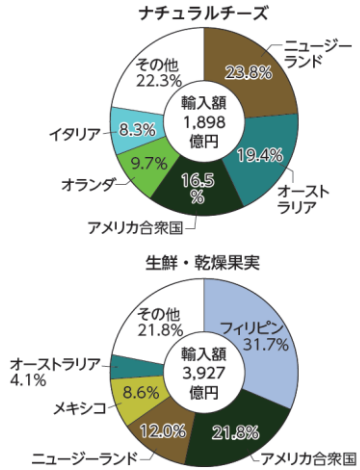
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
49	137	図4	 **4 日本の主な輸入品目における国・地域別の割合**　2021 年。農林水産省資料による。	 **4 日本の主な輸入品目における国・地域別の割合**　2023 年。農林水産省資料による。	

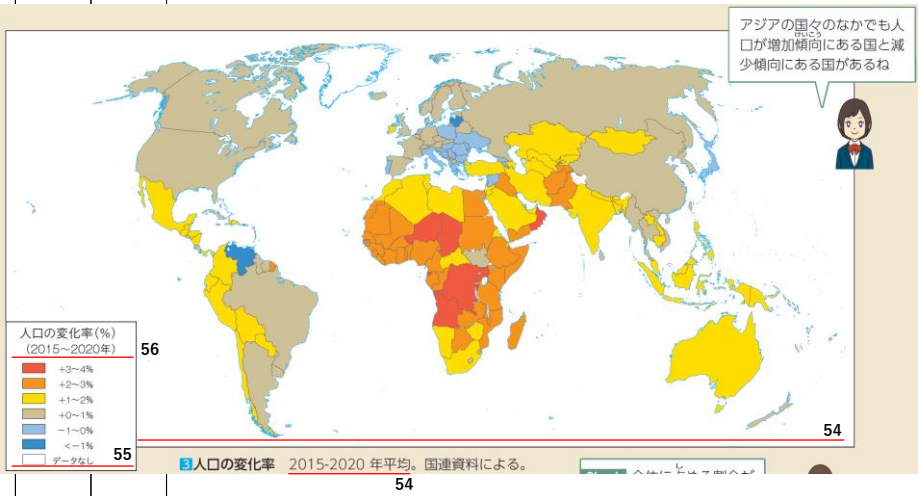
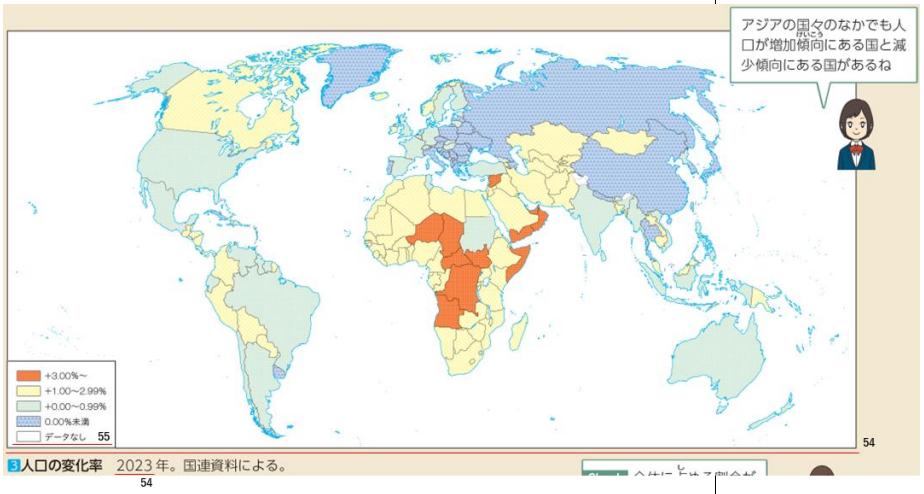
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
50 51	139	図3	 3 MERCOSUR 正式加盟国における主要な輸出相手国（上）と輸入相手国（下） 2020 年。ジェトロ資料などによる。 50 51 Check 各国における最大の輸出入相手国を図から読み取り，その共通点を説明してみよう	 3 MERCOSUR 正式加盟国における主要な輸出相手国（上）と輸入相手国（下） 2023 年。IMF 資料などによる。 50 51 Check 各国における最大の輸出入相手国を図から読み取り，その共通点を説明してみよう	
52	139	図4			

図書の記号・番号	地総702

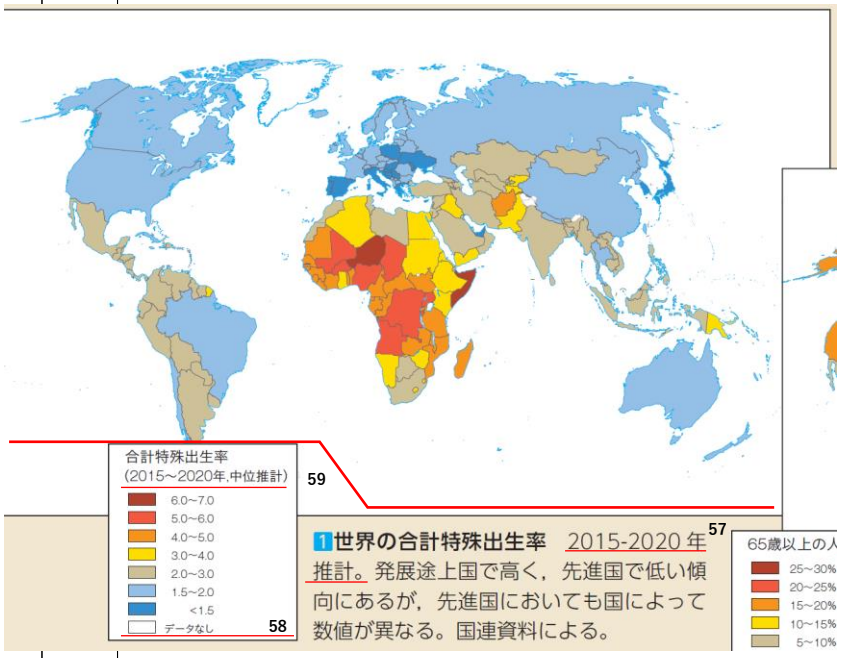
番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
53	146	図2	 2日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2021年。農林水産省資料による。	 2日本の主な輸入品目における国・地域別の割合　2023年。農林水産省資料による。	

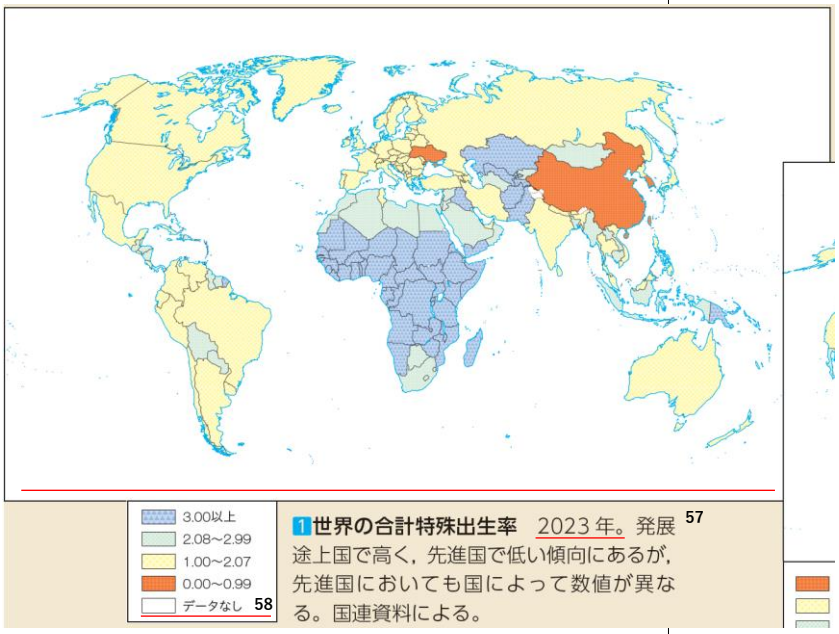
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
54 55 56	153	図3			

図書の記号・番号	地総702

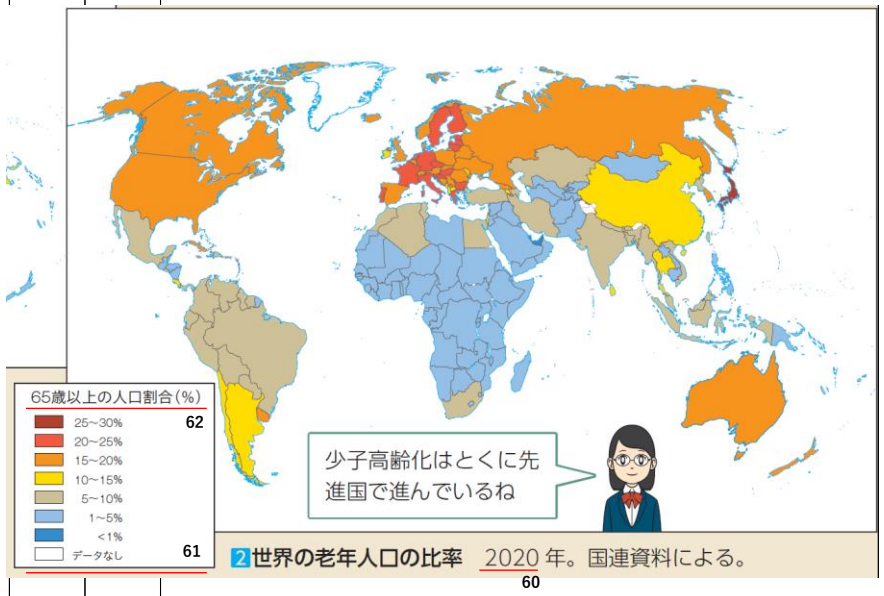
番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
57	154	図1			
58					
59					

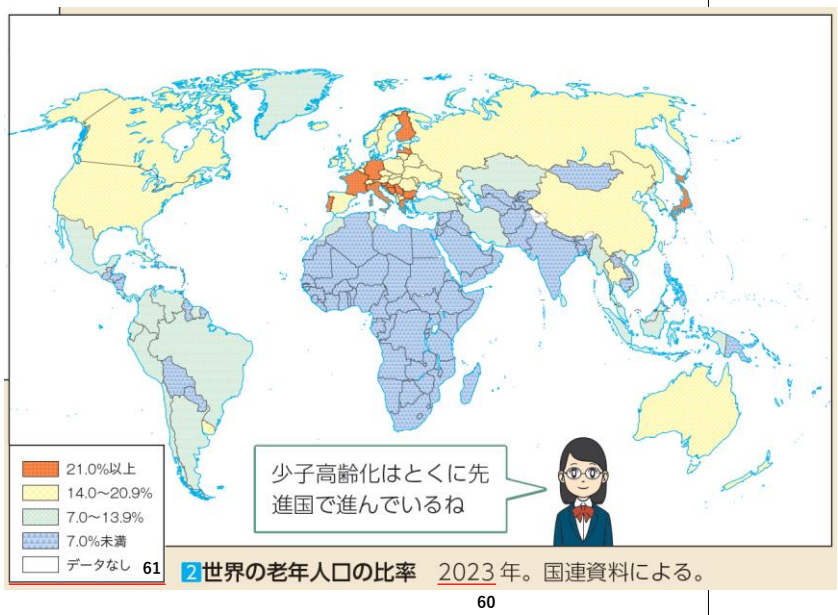




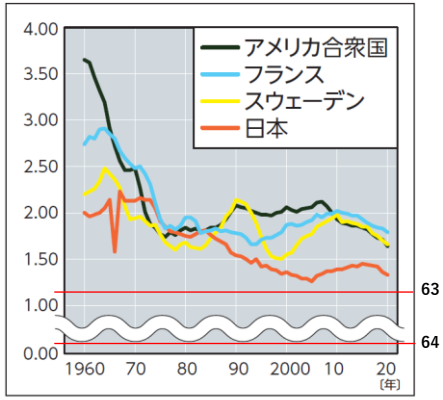
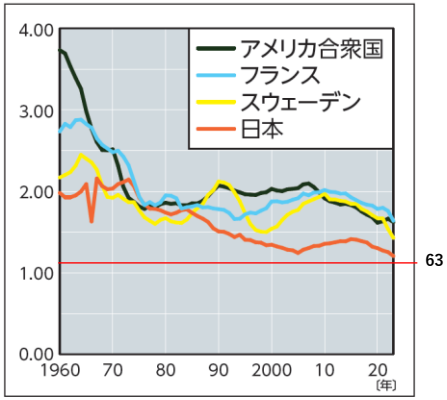
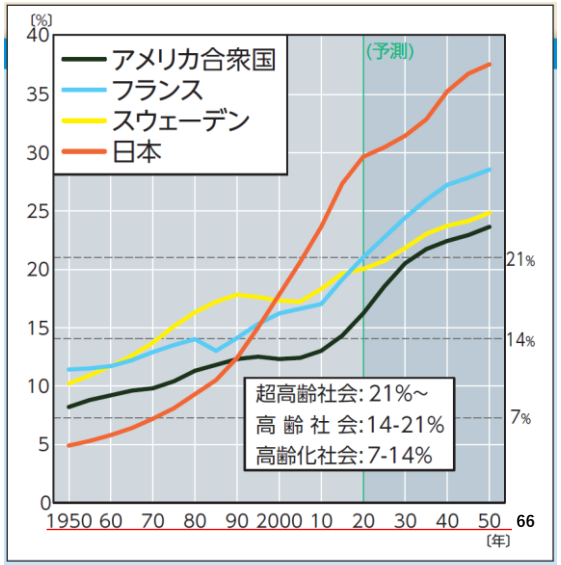
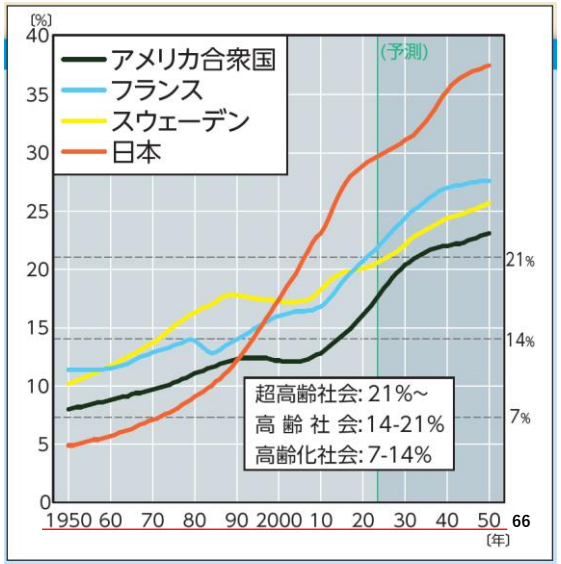
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
60	154	図2			
61					
62					



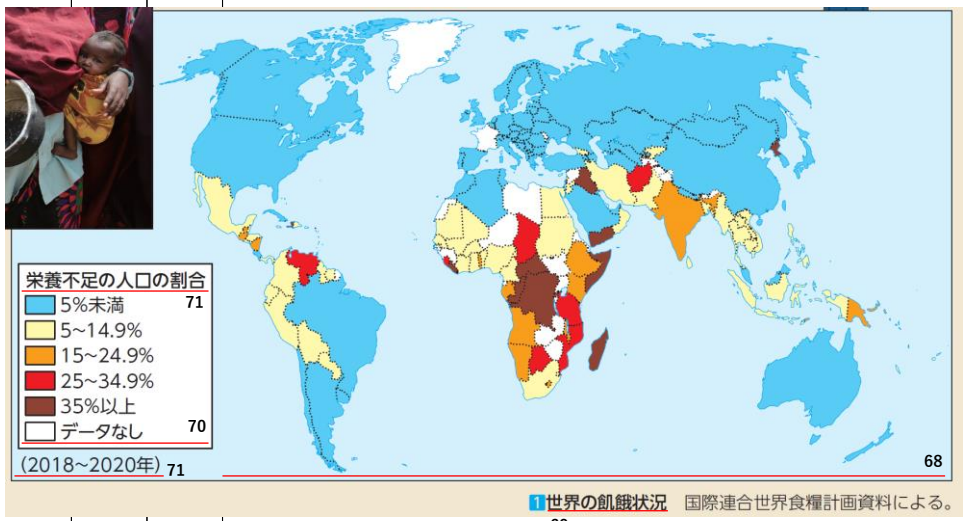


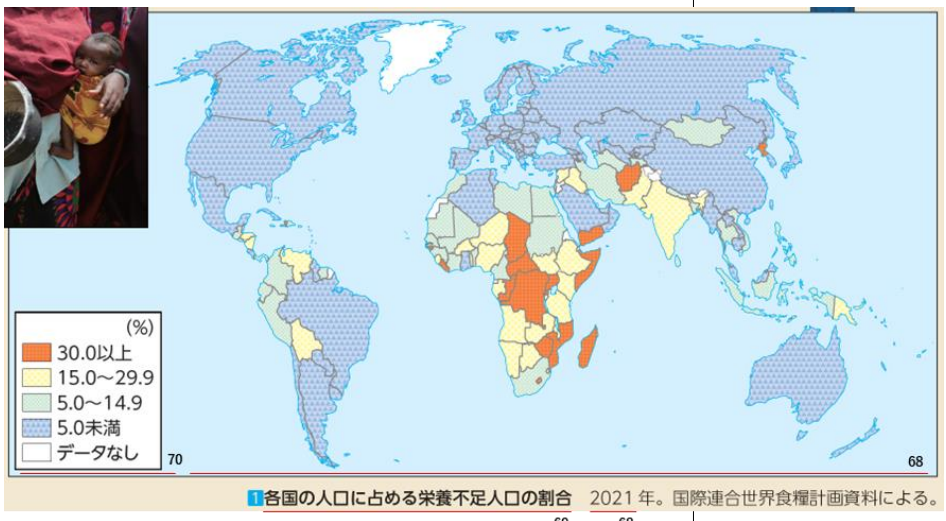
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
63 64 65	154	図3	 **3主な国の合計特殊出生率の推移**　OECD資料による。 65	 **3主な国の合計特殊出生率の推移**　国連資料による。 65	
66 67	155	コラム図	 **▲主な国における老年人口の比率の推移**　日本では，他の国に例がないほどの早いスピードで高齢化が進行している。国立社会保障・人口問題研究所資料による。 67	 **▲主な国における老年人口の比率の推移**　日本では，他の国に例がないほどの早いスピードで高齢化が進行している。国連資料による。 67	

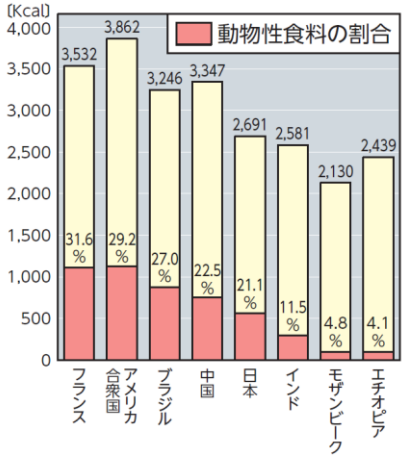
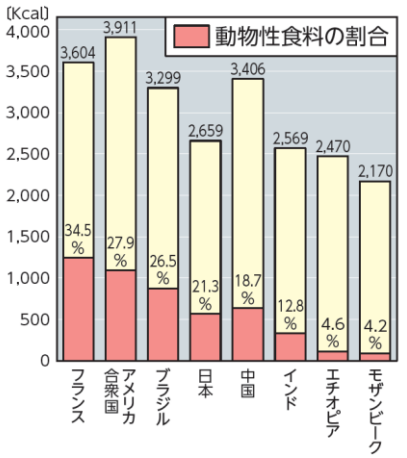
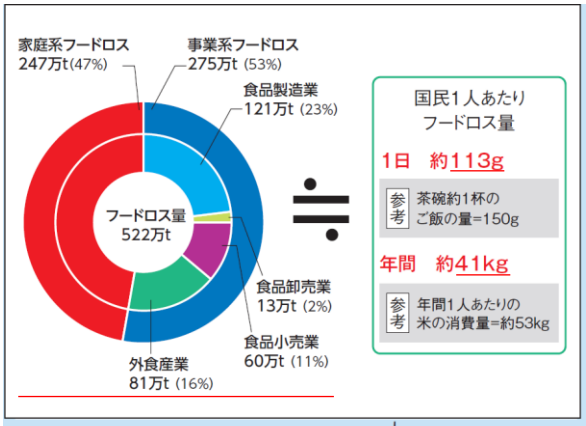
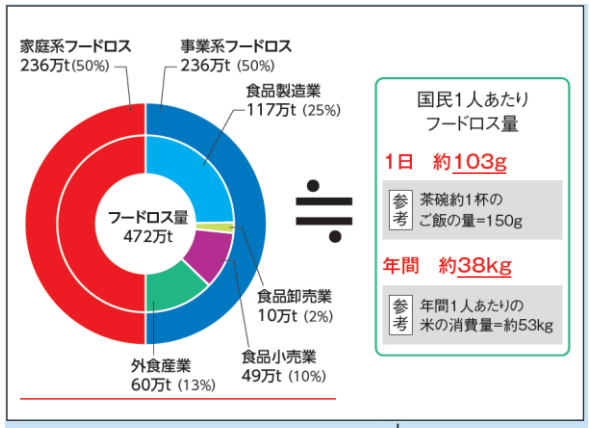
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
68	156	図1			
69					
70					
71					

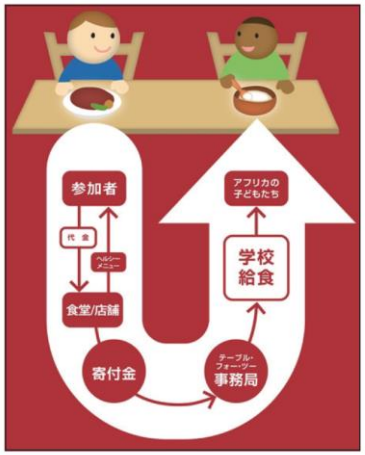
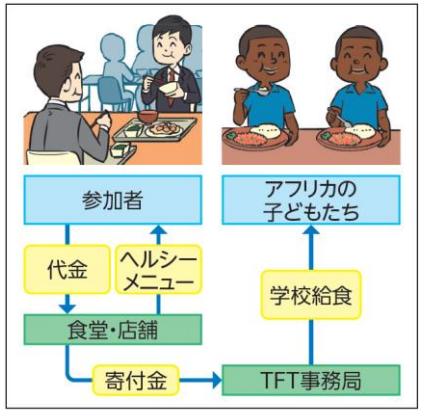




図書の記号・番号	地総702

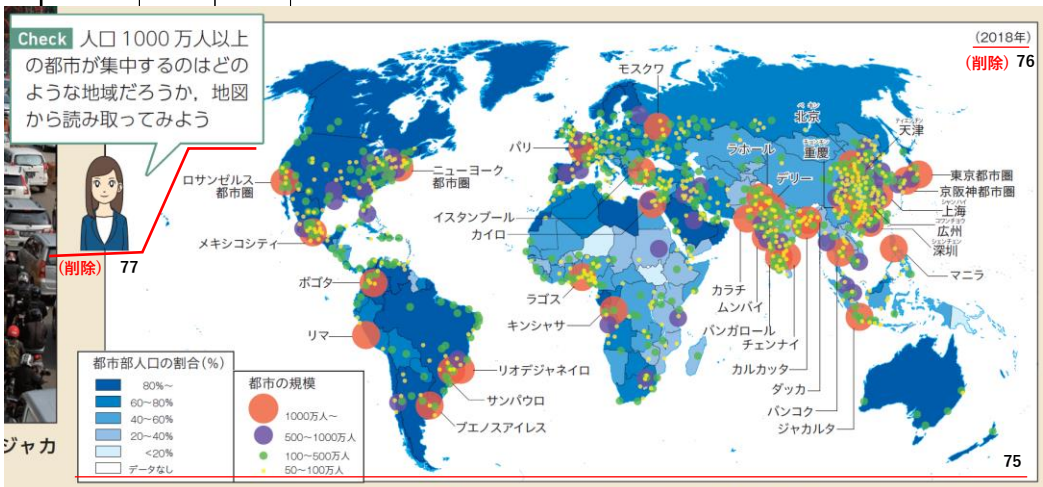
番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
72	156	図2	 **2 1人1日あたりの食料供給栄養量** 2019年。世界国勢図会 2022／23年版による。	 **2 1人1日あたりの食料供給栄養量** 2021年。世界国勢図会 2024／25年版による。	
73	157	コラム図	 **▲日本の食品廃棄物等に占めるフードロスの割合**（2020年度推計） 日本の食品廃棄物等は年間2,372万t。そのなかで本来食べられるのに捨てられる食品「フードロス」の量は年間522万tにのぼる。農林水産業資料による。	 **▲日本の食品廃棄物等に占めるフードロスの割合**（2022年度推計） 日本の食品廃棄物等は年間2,232万t。そのなかで本来食べられるのに捨てられる食品「フードロス」の量は年間472万tにのぼる。農林水産業資料による。	

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所		原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
	ページ	行			
74	159	図3	 3飽食と飢餓を同時に解消するための取り組み（「TABLE FOR TWO」）	 3飽食と飢餓を同時に解消するための取り組み（「TABLE FOR TWO」）	

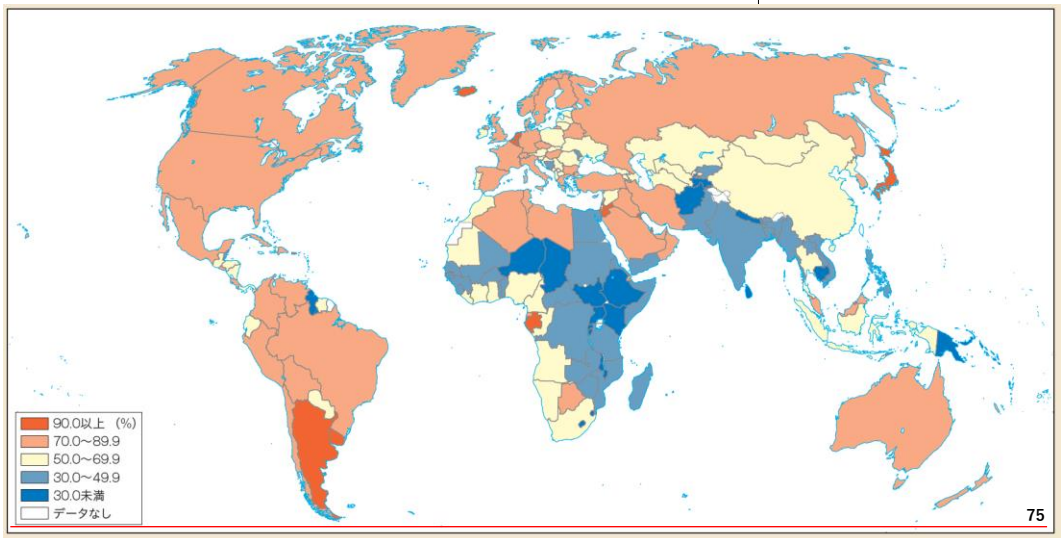
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
75	160	図1			
76					
77					



1 世界における主な都市の規模と都市人口の比率　国連資料などによる。

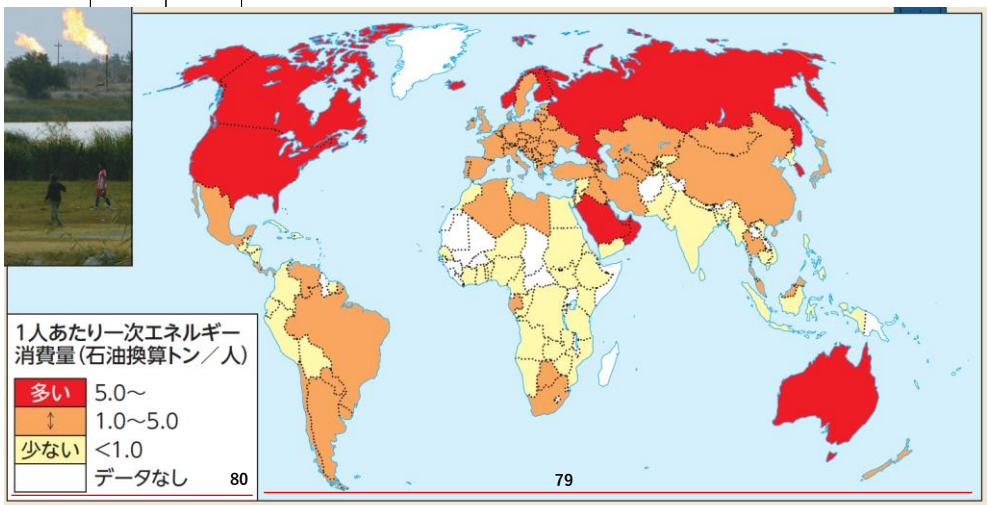
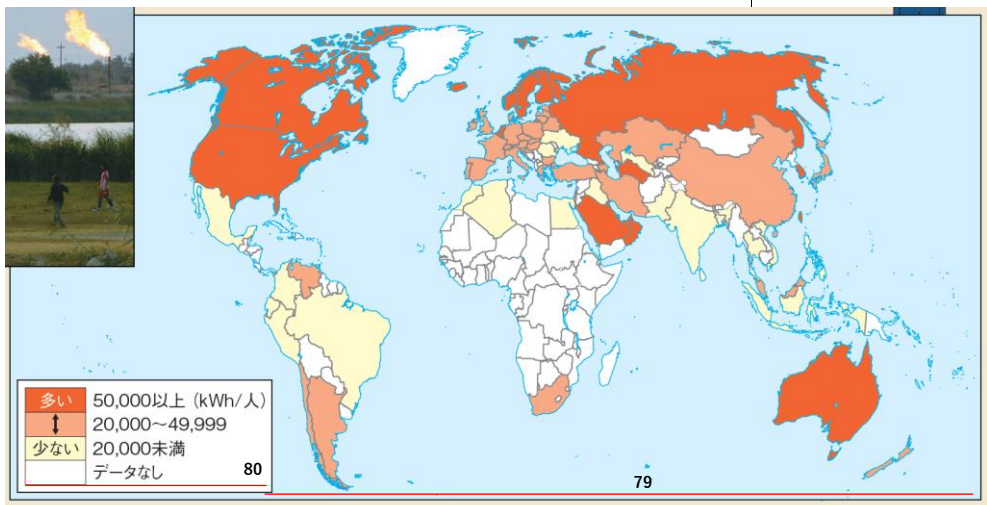
75



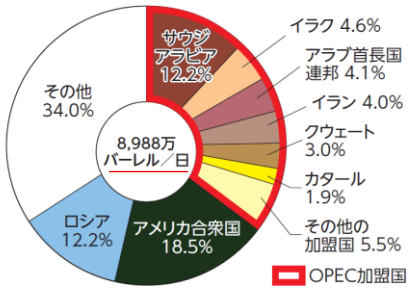
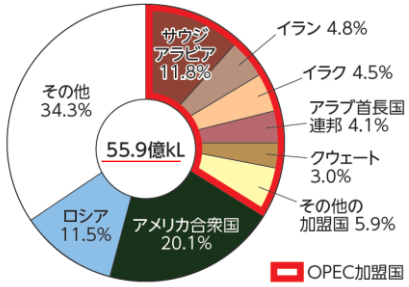
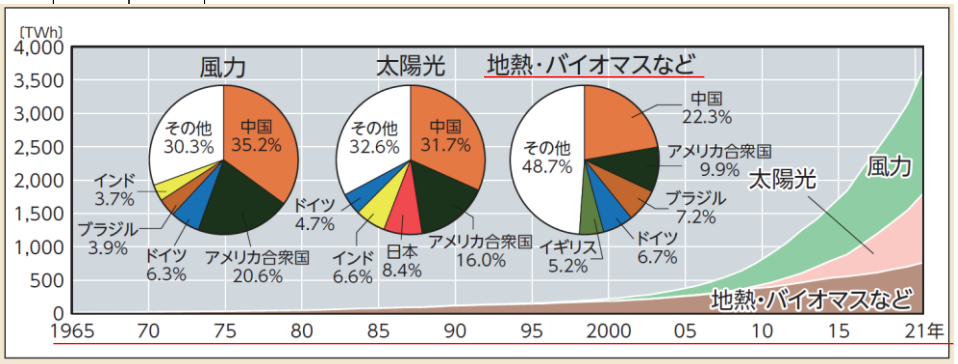
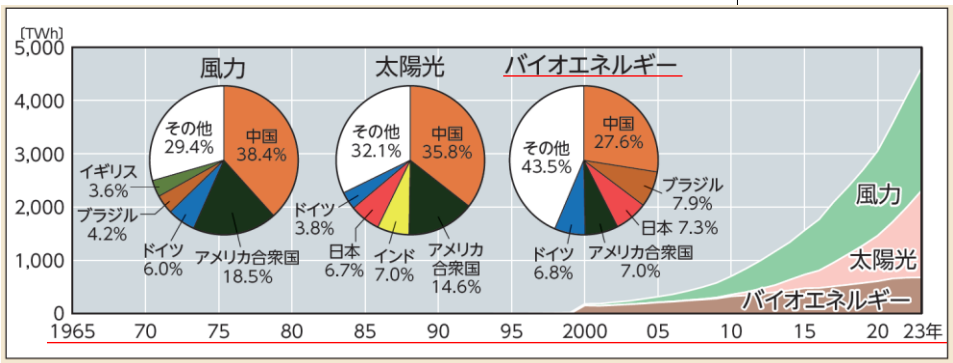
1 都市部に住む人口の割合　2022年。世界銀行資料などによる。

75

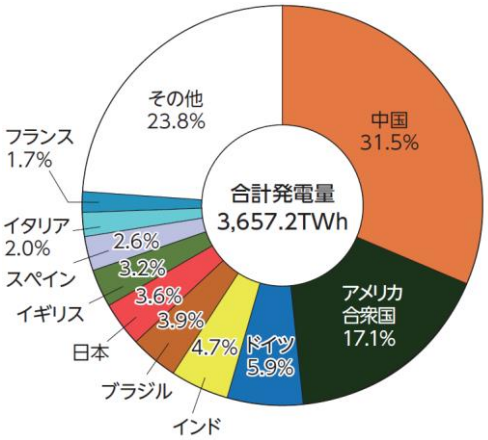
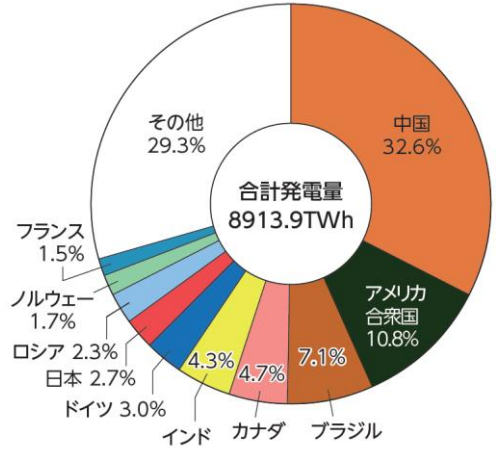
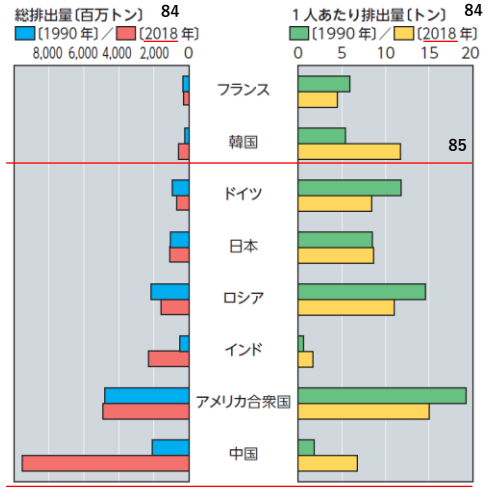
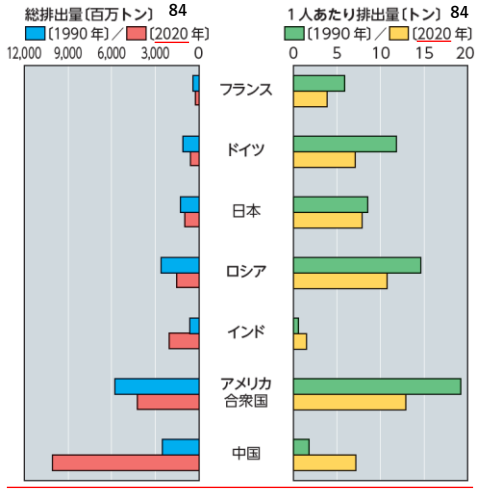
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
78	160	図2	（欠番）		
79	162	図1	 1 1人あたり一次エネルギー消費量　2018年。国際エネルギー機関（IEA）資料による。	 1 1人あたり一次エネルギー消費量　2023年。Our World In Data による。	
80					80

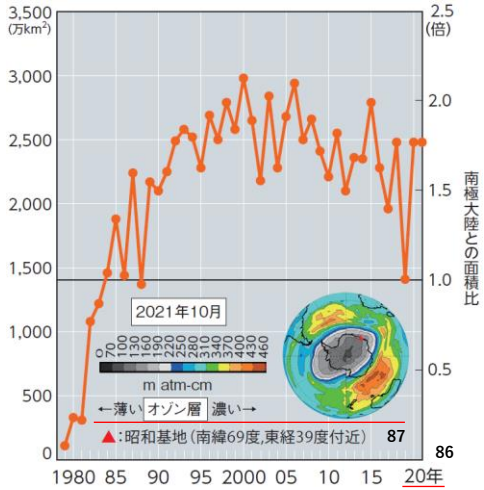
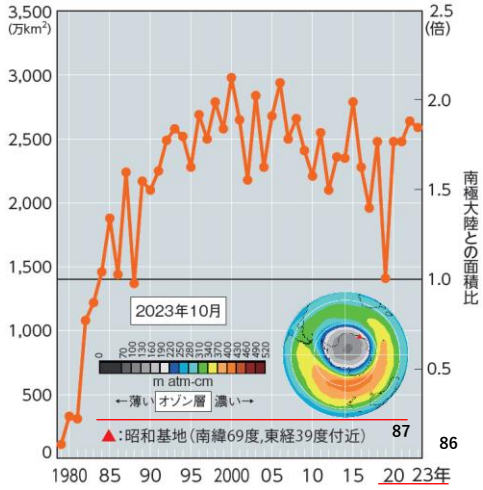
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
81	163	図2	 **2 世界の石油生産量の国別割合**　2021 年。西アジア諸国を中心に結成された OPEC 加盟国が全体の生産量の 35.3% を占めるが，近年その割合は減少傾向にある。BP 資料による。	 **2 世界の原油生産量の国別割合**　2023 年。西アジア諸国を中心に結成された OPEC 加盟国が全体の生産量の 34.1% を占めるが，近年その割合は減少傾向にある。世界国勢図会 2024/25 年版による。	
82	164	図1	 **1 再生可能エネルギー発電総量の推移と割合**　BP 資料による。	 **1 再生可能エネルギー発電総量の推移と割合（2023 年）**　Our World In Data による。	

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
83	164	図2	 2世界の再生可能エネルギーの総発電量に占(し)める上位10か国の割合　2021年。BP資料による。	 2世界の再生可能エネルギーの総発電量に占(し)める上位10か国の割合　2023年。太陽光，風力，バイオエネルギーのほか，水力なども含む。Our World In Dataによる。	
84 85	167	図2	 84 2主な国の二酸化炭素排出量　世界国勢図会 2021/22年版による。	 84 2主な国の二酸化炭素排出量　世界国勢図会 2023/24年版による。	

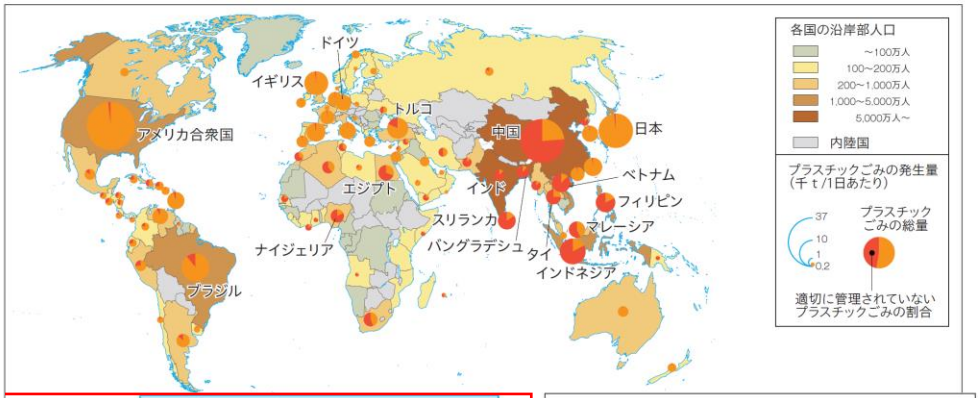
図書の記号・番号	地総702

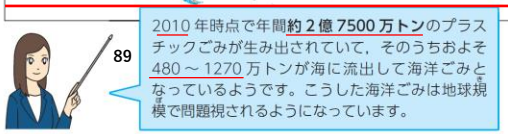
番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
86 87	169	図4			

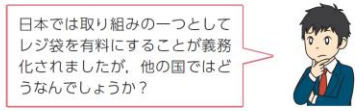
図書の記号・番号	地総702

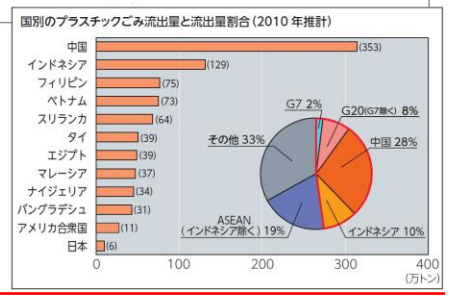
番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
88 89	172	上図			

▼国別に見た沿岸部の人口および世界各国におけるプラスチックごみの排出量とそれに占める適切に管理されていないプラスチックごみの割合（2010 年推計値）　アジアで適切に管理されていないプラスチックごみの多さが読み取れる。

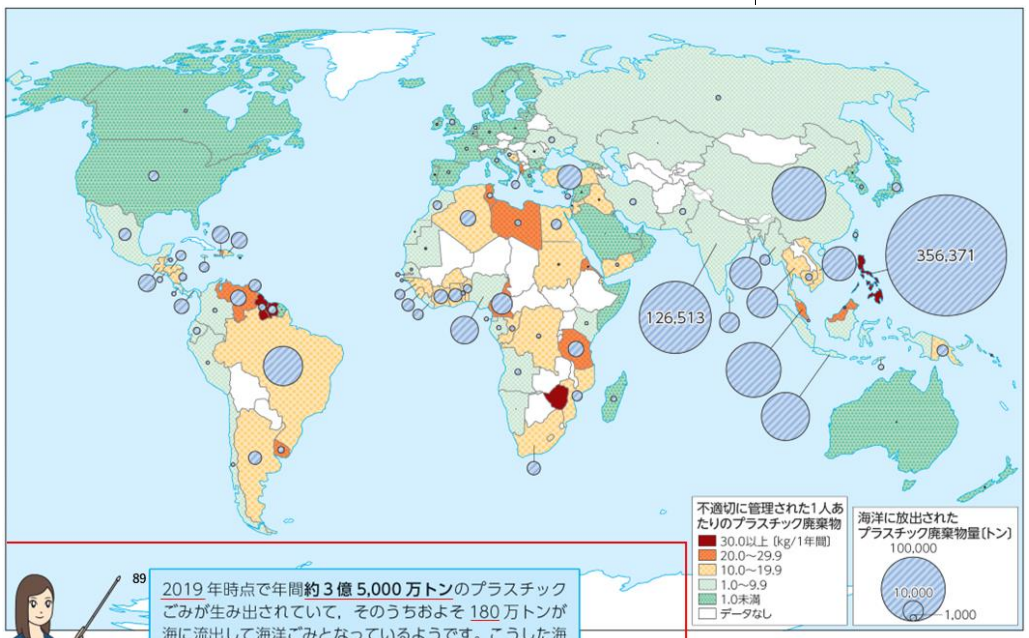








88



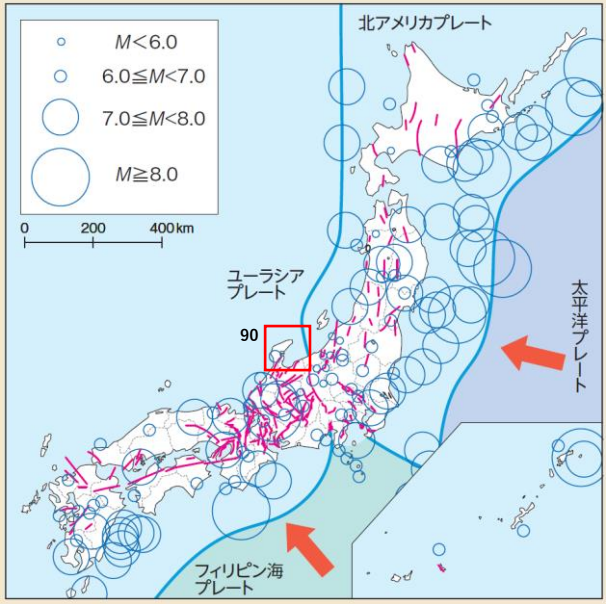
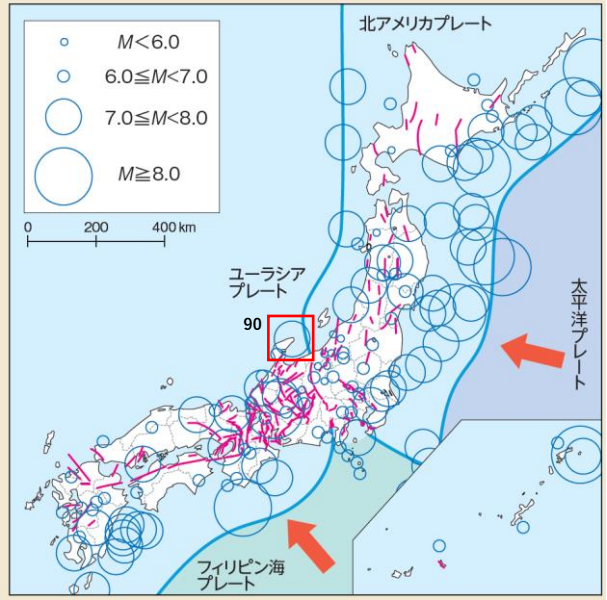
2019 年時点で年間約 3 億 5,000 万トンのプラスチックごみが生み出されていて，そのうちおよそ 180 万トンが海に流出して海洋ごみとなっているようです。こうした海洋ごみは地球規模で問題視されるようになっています。

日本では取り組みの一つとしてレジ袋を有料にすることが義務化されましたが，他の国ではどうなんでしょうか？

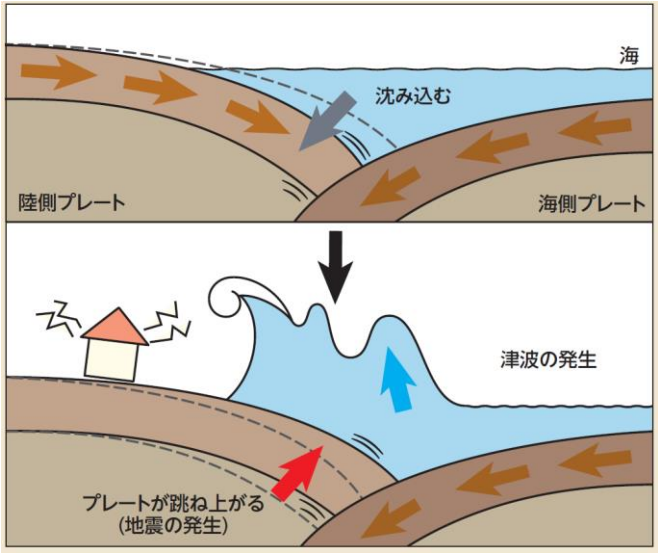
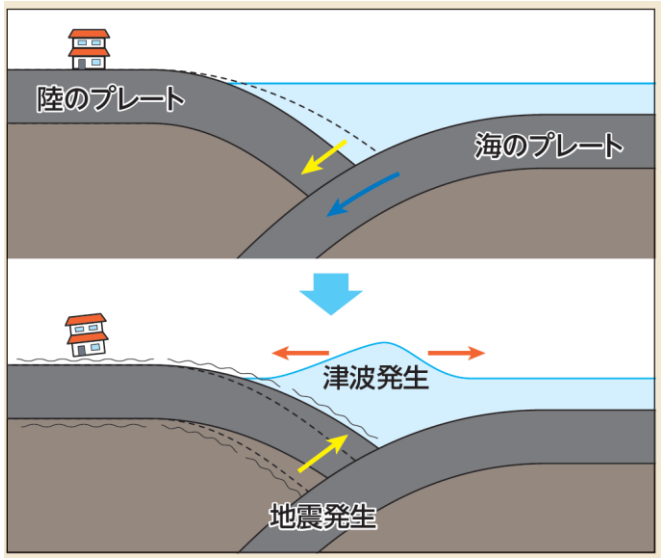
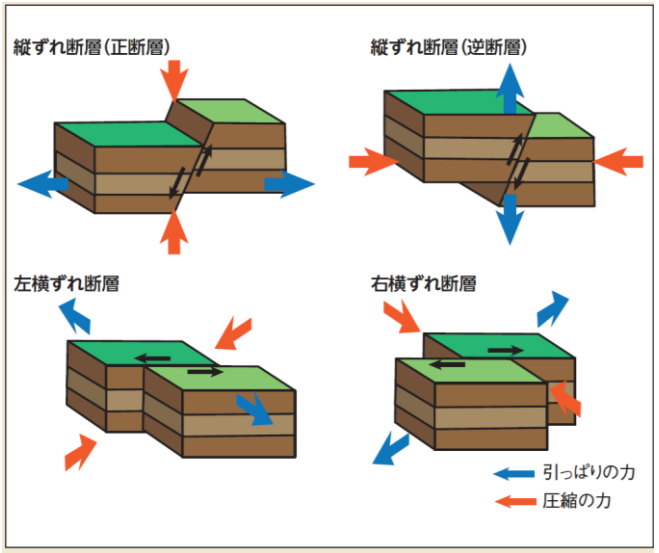
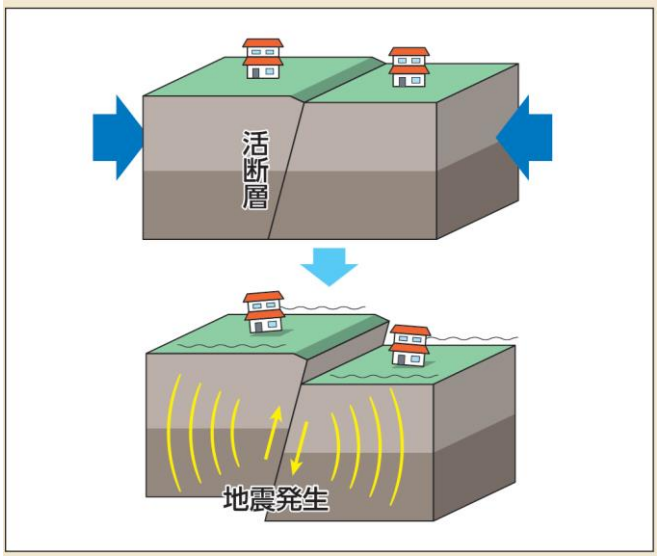
▲海洋に放出されたプラスチック廃棄物量と不適切に管理された 1 人あたりのプラスチック廃棄物量　2019 年。Our World In Data による。

88

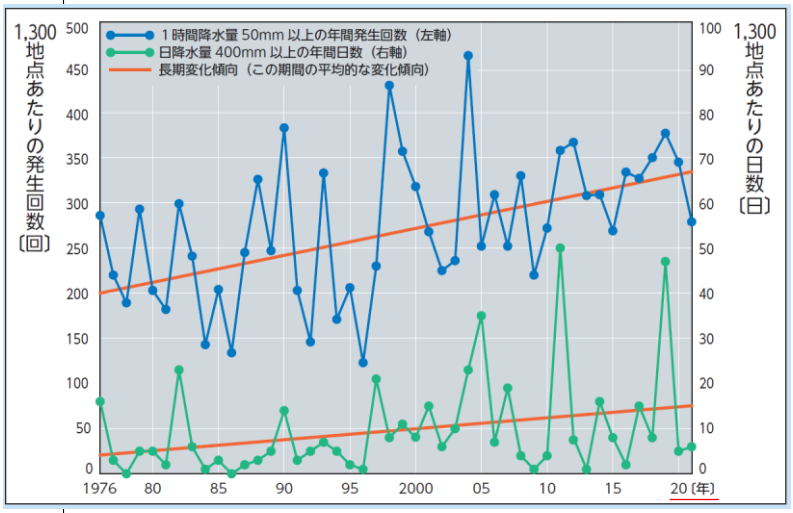
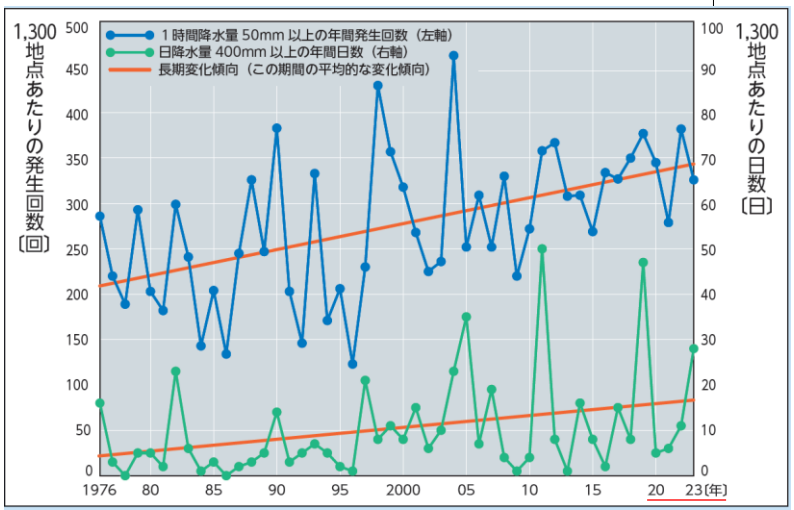
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
90 91	178	図1	1日本における活断層と主な地震の分布 91 理科年表 2020 などによる。  	1日本における活断層と主な地震の分布 91 アメリカ地質調査所資料などによる。  	

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
92	179	左図			
		右図			

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
93	185	コラム 図			

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
94	219	表			

原文

北海道	32.1%	富山県	32.6%	鳥取県	32.4%	福岡県	27.9%
青森県	33.7%	石川県	29.7%	島根県	34.3%	佐賀県	30.7%
岩手県	33.7%	福井県	30.6%	岡山県	30.3%	長崎県	33.0%
宮城県	28.1%	山梨県	30.9%	広島県	29.4%	熊本県	31.4%
秋田県	37.5%	長野県	31.9%	山口県	34.6%	大分県	33.2%
山形県	33.8%	岐阜県	30.5%	徳島県	34.2%	宮崎県	32.6%
福島県	31.6%	静岡県	30.1%	香川県	31.8%	鹿児島県	32.6%
茨城県	29.7%	愛知県	25.3%	愛媛県	33.3%	沖縄県	22.6%
栃木県	29.1%	三重県	29.9%	高知県	35.5%		
群馬県	30.2%	滋賀県	26.2%				
埼玉県	27.0%	京都府	29.3%				
千葉県	27.6%	大阪府	27.6%				
東京都	22.7%	兵庫県	29.3%				
神奈川県	25.6%	奈良県	31.6%				
新潟県	32.8%	和歌山県	33.3%				

2020年10月1日時点。

Extra Mission 6

失われたファイル

★★★ 私たちは都道府県別の人口に占める何の割合を地図化していたのだろうか

❶20歳以上の外国人の割合
❷農業従事者の割合
❸65歳以上の高齢者の割合

訂正文

北海道	33.0%	富山県	33.1%	鳥取県	33.3%	福岡県	28.5%
青森県	35.2%	石川県	30.5%	島根県	34.9%	佐賀県	31.7%
岩手県	35.0%	福井県	31.6%	岡山県	31.0%	長崎県	34.3%
宮城県	29.2%	山梨県	31.8%	広島県	30.1%	熊本県	32.3%
秋田県	39.1%	長野県	32.7%	山口県	35.4%	大分県	34.2%
山形県	35.2%	岐阜県	31.2%	徳島県	35.4%	宮崎県	33.7%
福島県	33.2%	静岡県	31.0%	香川県	32.5%	鹿児島県	33.8%
茨城県	30.6%	愛知県	25.7%	愛媛県	34.2%	沖縄県	23.8%
栃木県	30.2%	三重県	30.6%	高知県	36.3%		
群馬県	31.0%	滋賀県	27.0%				
埼玉県	27.4%	京都府	29.7%				
千葉県	28.1%	大阪府	27.7%				
東京都	22.8%	兵庫県	30.0%				
神奈川県	25.9%	奈良県	32.6%				
新潟県	33.9%	和歌山県	34.2%				

2023年10月1日時点。

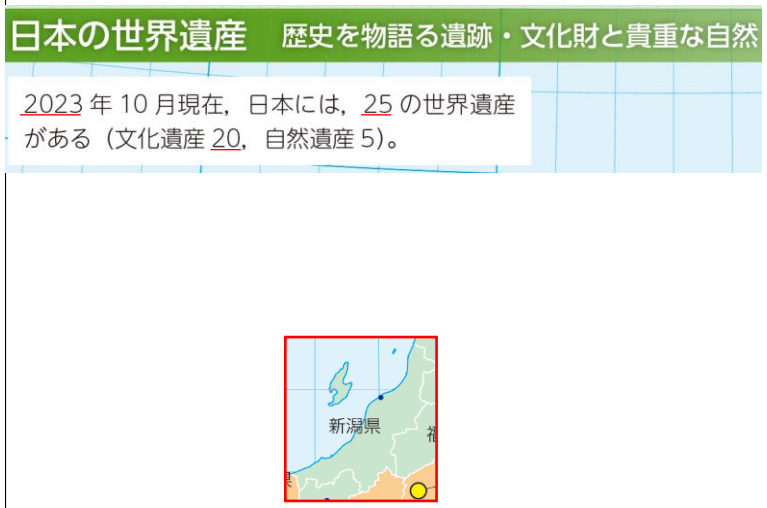
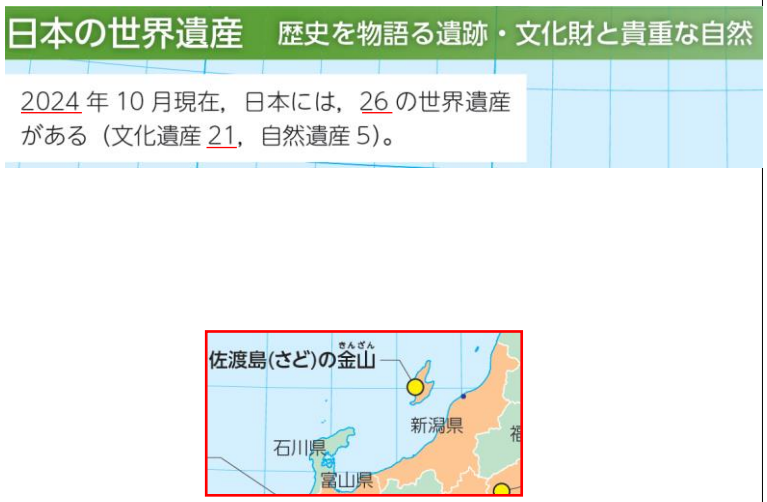
Extra Mission 6

失われたファイル

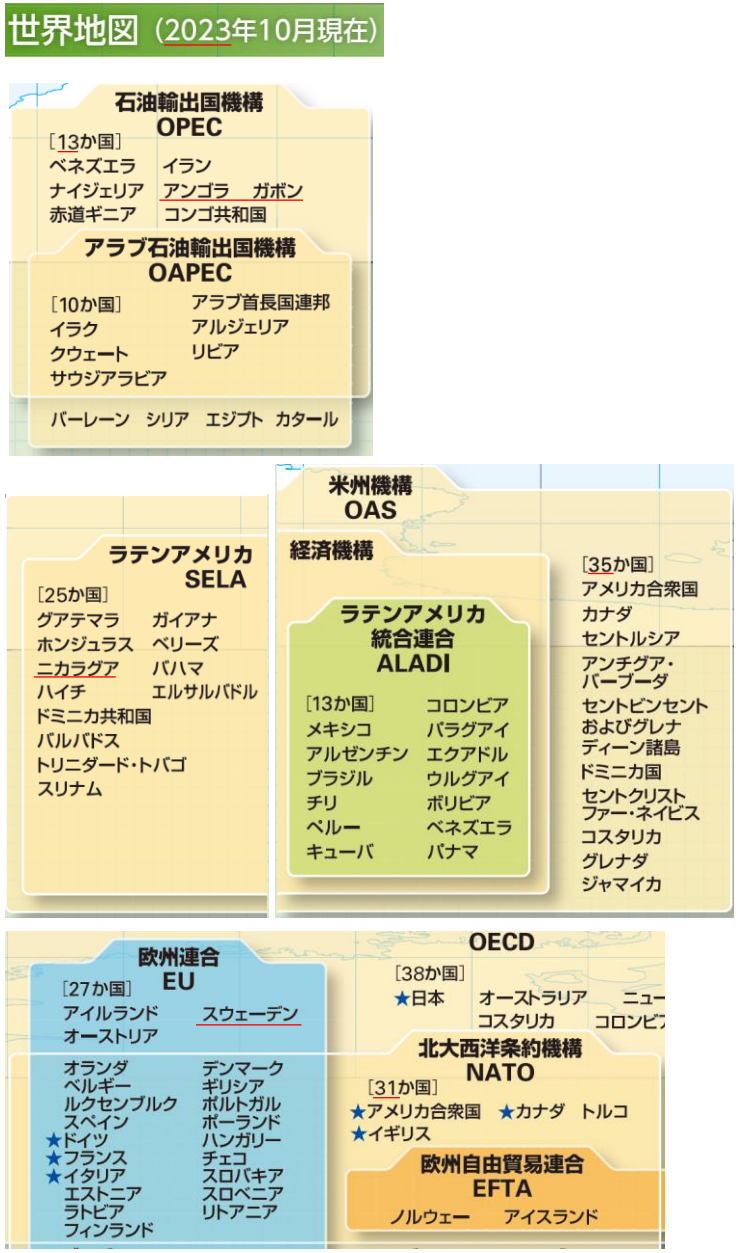
★★★ 私たちは都道府県別の人口に占める何の割合を地図化していたのだろうか

❶20歳以上の外国人の割合
❷農業従事者の割合
❸65歳以上の高齢者の割合

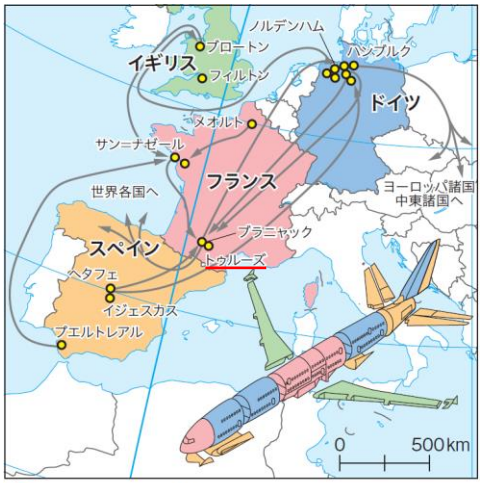
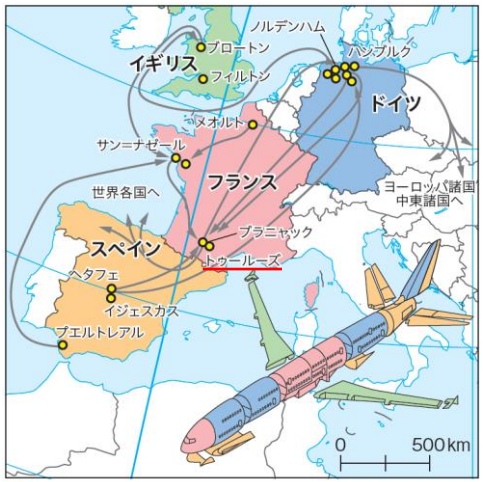
図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原　　文	訂　　正　　文	訂　正　理　由
95	巻末⑩				

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
96	巻末 ⑪⑫		 	 	

図書の記号・番号	地総702

番号	訂正箇所 ページ	訂正箇所 行	原文	訂正文	訂正理由
97	105	図2	 **2ヨーロッパ西部地域における航空機の製造と分業**　Diercke Weltatlas 2015 による。	 **2ヨーロッパ西部地域における航空機の製造と分業**　Diercke Weltatlas 2015 による。	
99	巻頭①	下図解説	2022 年の FIFA ワールドカップには，209 の国と地域が予選に参加し（開催国のカタールを除く），32 か国が本大会に出場した。	2022 年の FIFA ワールドカップには，209 の国と地域が予選に参加し（開催国のカタールを除く），32 の国・地域が本大会に出場した。	